

---

**目次**

Color Calibration Management Consoleの特長 .....	2
インストール手順 .....	4
アンインストール手順 .....	7
起動方法 .....	8
メインウィンドウ .....	9
[ファイル]メニュー .....	12
[ツール]メニュー ([キャリブレーション]シート表示時) .....	13
[ツール]メニュー ([色の測定]シート表示時) .....	14
[ヘルプ]メニュー .....	16
[プリンタ]リスト .....	17
[キャリブレーション]シート .....	19
[色の測定]シート .....	21
カラーキャリブレーション状況を確認する .....	23
カラーキャリブレーションを実行する .....	26
任意のカラーチャートの測色データを取得する .....	30
カラーチェックを実行する .....	39
実行履歴をお気に入りに登録する .....	45
実行履歴をお気に入りから削除する .....	47
実行履歴をコンピュータに保存する .....	49
表示単位を切り替える .....	51
カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる .....	52

## Color Calibration Management Console の特長

Color Calibration Management Console は、複数のプリンタに対して、カラーキャリブレーションの状況の把握やカラーキャリブレーションの実行ができるソフトウェアです。測色ユニットが搭載されているプリンタに対しては、測色データの取得や、カラーチェックが実行できます。

- カラーキャリブレーション状況の表示
- カラーキャリブレーションの実行
- 測色データの取得
- カラーチェックの実行

### カラーキャリブレーション状況の表示

ネットワークや USB で接続されたプリンタが、メインウィンドウにリスト表示されます。

プリンタが複数台ある場合、同じ用紙種類でカラーキャリブレーションが実行されていて、その用紙がセットされているプリンタは、同じキャリブレーショングループに表示されます。同じキャリブレーショングループのプリンタは、カラーキャリブレーションを実行することで同じ色味に補正できます。

メインウィンドウからプリンタを選択すると、そのプリンタのカラーキャリブレーションの状況や実行履歴などが表示されます。

カラーキャリブレーション状況の確認方法は「[カラーキャリブレーション状況を確認する\(P.23\)](#)」を参照してください。

### カラーキャリブレーションの実行

カラーキャリブレーションを実行できます。

カラーキャリブレーションを実行すると、プリンタの個体差や経年変化による色味のばらつきを補正できます。

カラーキャリブレーションの実行手順は、「[カラーキャリブレーションを実行する\(P.26\)](#)」を参照してください。



#### メモ

- キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを実行するには、その用紙のキャリブレーションターゲットが必要です。キャリブレーションターゲットの作成は、測色ユニット搭載プリンタで、測色ユニット対応プリンタに同梱されている Media Configuration Tool を使って作成することができます。

### カラーチャートの測色データ取得

任意のカラーチャートを測色して、測色データをコンピュータに保存できます。このデータを市販の ICC プロファイル作成ソフトウェアに読み込むと、ICC プロファイルを作成できます。

測色データの取得手順は、「[任意のカラーチャートの測色データを取得する\(P.30\)](#)」を参照してください。



- この機能は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
- 

## カラーチェックの実行

カラーチェックを実行できます。

カラーチェックを実行すると、内蔵パターンを印刷し、プリンタに登録されているキャリブレーションターゲットとの色差が算出され、チェック結果が表示されます。

カラーチェックは、プリンタの色状態を詳細に確認したいときに実行します。

カラーチェックの実行手順は、「[カラーチェックを実行する\(P.39\)](#)」を参照してください。

---



- この機能は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
-

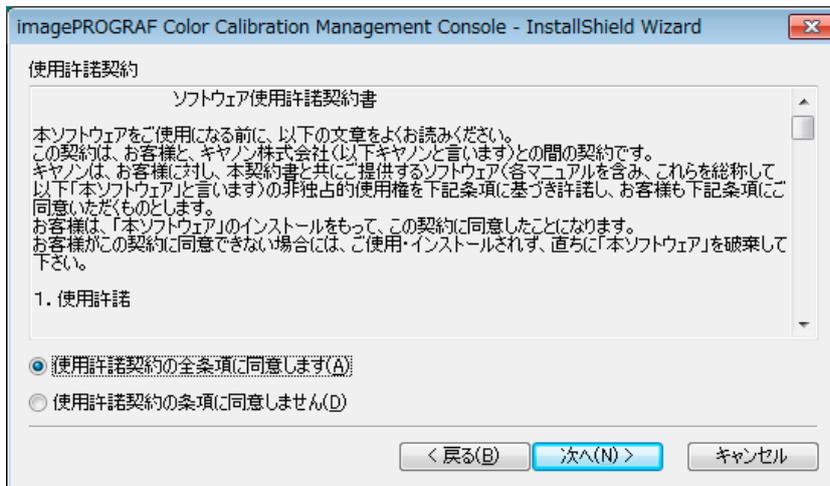
## インストール手順

Color Calibration Management Console をインストールする手順は、以下のとおりです。

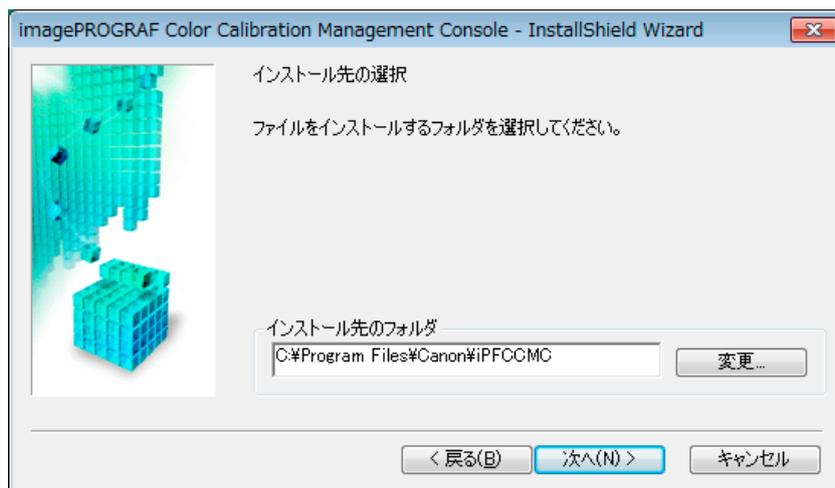
- 1 Color Calibration Management Console のインストーラを起動します。
- 2 [次へ]ボタンをクリックします。



- 3 使用許諾契約書を読んで、[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



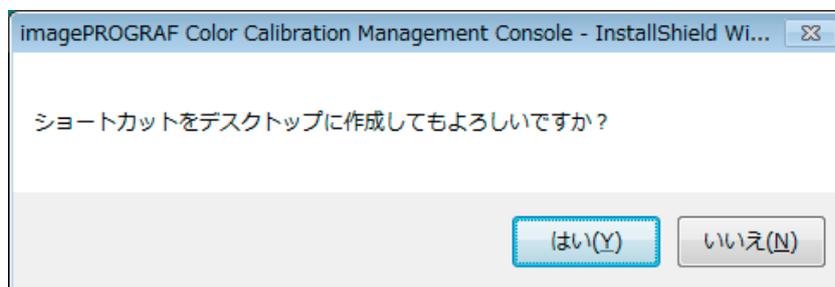
- 4 インストール先を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



- 5 [インストール]ボタンをクリックします。



- 6 デスクトップに Color Calibration Management Console のショートカットアイコンを作成したいときは、[はい]ボタンをクリックします。



## インストール手順

---

- 7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]または[いいえ、後でコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。

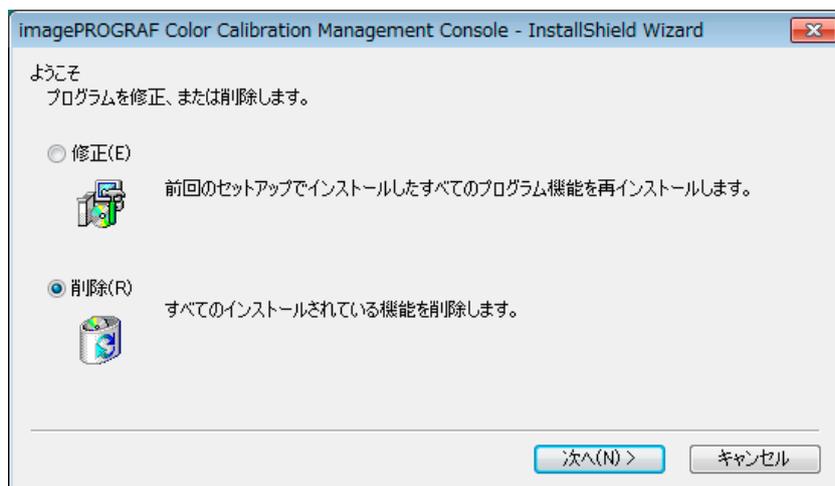


コンピュータを再起動すると、Color Calibration Management Console のインストールが完了します。

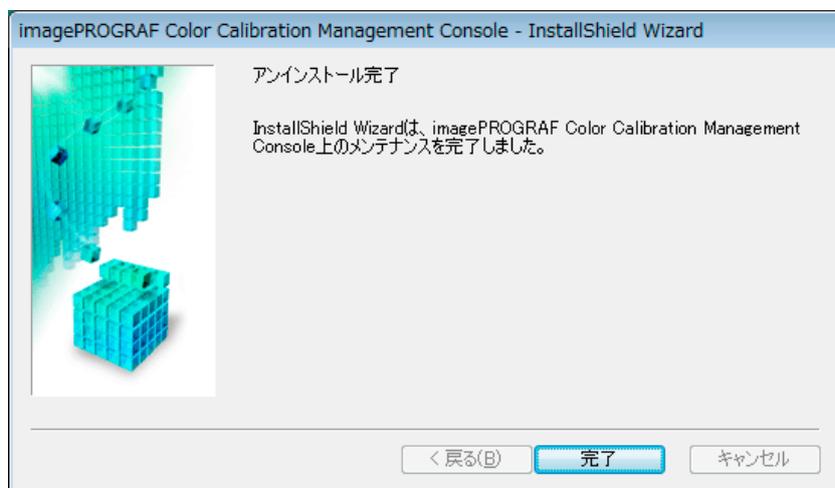
## アンインストール手順

Color Calibration Management Console をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

- 1 [スタート]メニューから[すべてのプログラム]>[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]>[Uninstaller (imagePROGRAF Color Calibration Management Console)]を選択します。
- 2 [削除]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



- 3 [完了]ボタンをクリックします。



Color Calibration Management Console のアンインストールが完了します。

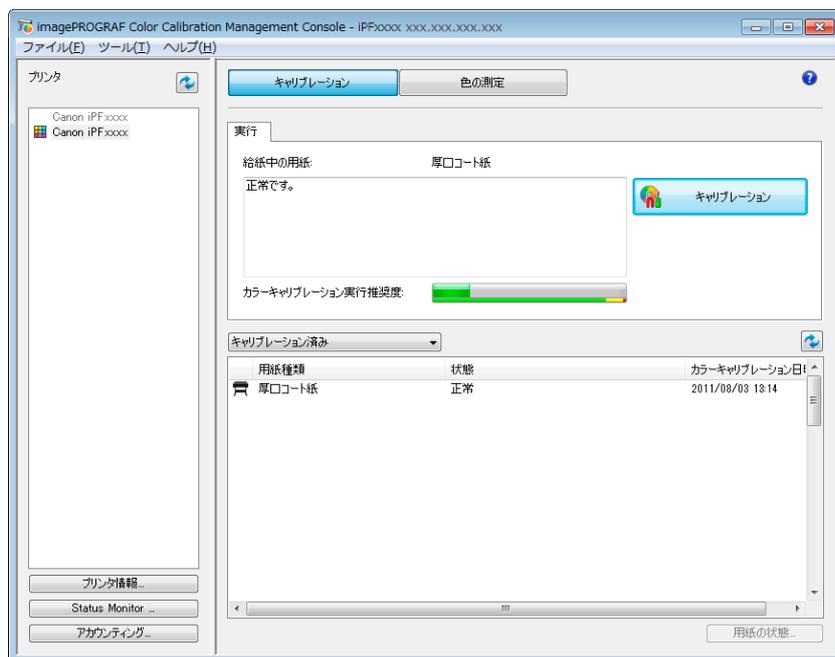
## 起動方法

Color Calibration Management Console を起動する手順は、以下のとおりです。

デスクトップの[Color Calibration Management Console]アイコンをダブルクリックします。



Color Calibration Management Console メインウィンドウが表示されます。



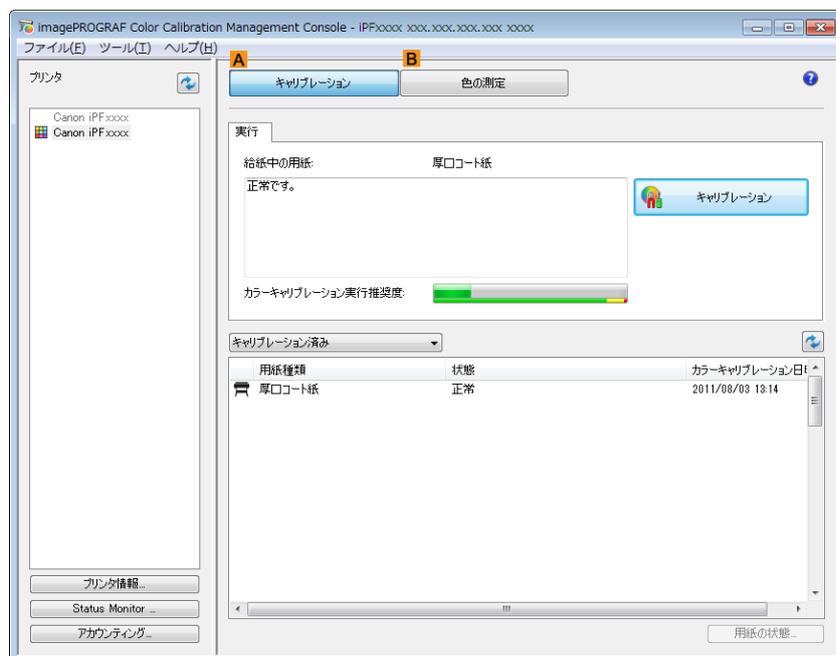
### メモ

- デスクトップに[Color Calibration Management Console]アイコンがない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]>[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]>[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]を選択します。

## メインウィンドウ

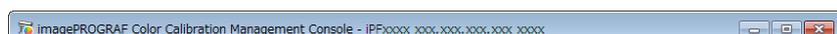
Color Calibration Management Console のメインウィンドウは、タイトルバー、メニューバー、[プリンタ]リスト、[キャリブレーション]シート、[色の測定]シートで構成されています。

[キャリブレーション]シートと[色の測定]シートは、**A**[キャリブレーション]ボタンまたは**B**[色の測定]ボタンをクリックすると切り替わります。メニューバーの[ファイル]メニューから切り替えることもできます。



### タイトルバー

[プリンタ]リストで選択したプリンタの機種名、ポート名、設置場所が表示されます。



### メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

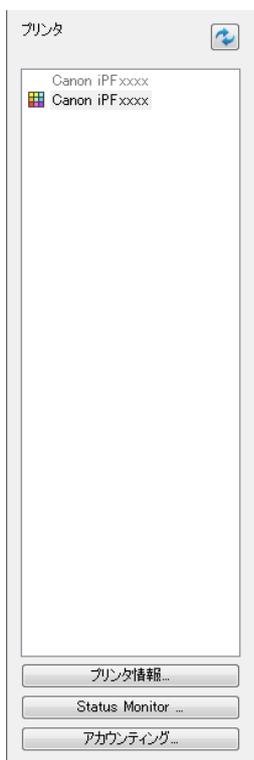


各メニューの詳細については、以下を参照してください。

- [\[ファイル\]メニュー\(P.12\)](#)
- [\[ツール\]メニュー\(\[キャリブレーション\]シート表示時\) \(P.13\)](#)
- [\[ツール\]メニュー\(\[色の測定\]シート表示時\) \(P.14\)](#)
- [\[ヘルプ\]メニュー\(P.16\)](#)

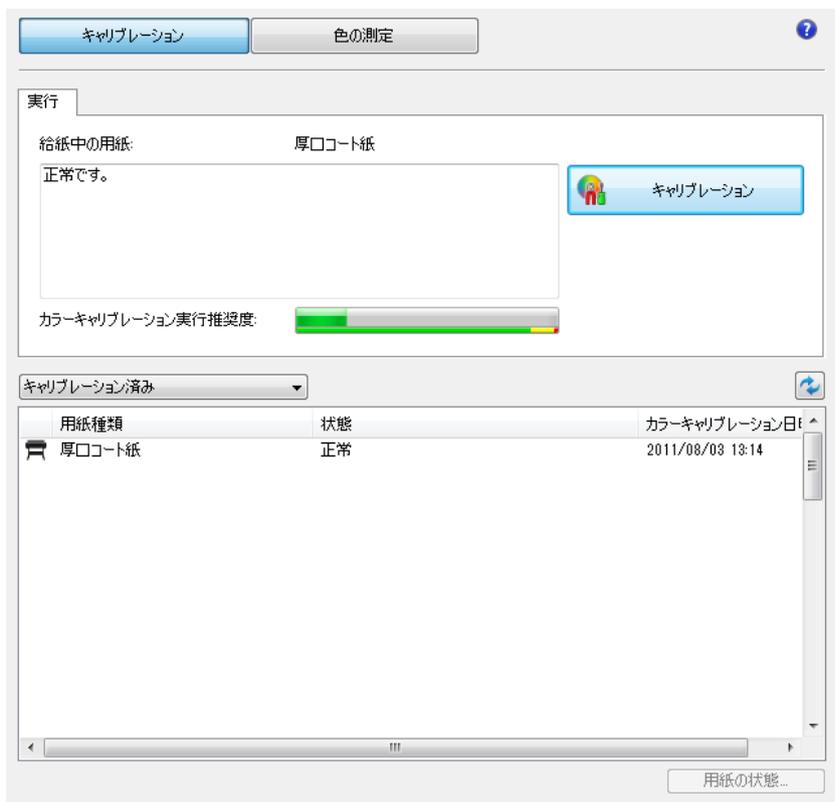
## [プリンタ]リスト

操作可能なプリンタが表示されます。詳細については、「[\[プリンタ\]リスト\(P.17\)](#)」を参照してください。



## [キャリブレーション]シート

カラーキャリブレーションを実行できます。詳細については、「[\[キャリブレーション\]シート\(P.19\)](#)」を参照してください。



## [色の測定]シート

カラーチャートの測色データを取得したり、カラーチェックを実行できます。詳細については、「[\[色の測定\]シート\(P.21\)](#)」を参照してください。

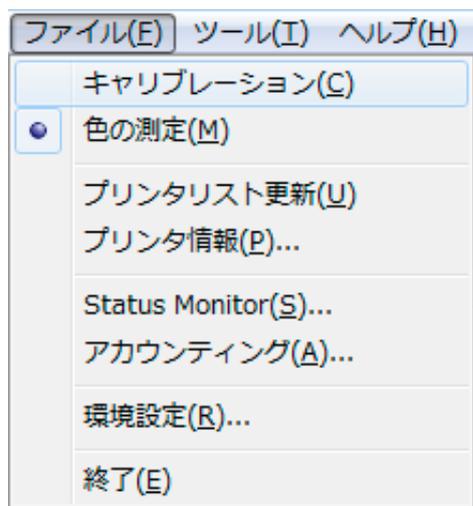


- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。



## [ファイル]メニュー

[ファイル]メニューの各項目について説明します。



### [キャリブレーション] / [色の測定]

メインウィンドウのシートを選択します。

### [プリンタリスト更新]

メインウィンドウの左側にある[プリンタ]リストが最新の状態になります。

### [プリンタ情報]

[プリンタ]リストで選択したプリンタの[プリンタ情報]ダイアログボックスを表示します。

プリンタの詳細情報を確認できます。

### [Status Monitor]

[プリンタ]リストで選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor が起動し、印刷ジョブの状態などを確認できます。

### [アカウンティング]

[プリンタ]リストで選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor Accounting Manger のメインウィンドウが起動し、印刷にかかったコストなどを確認できます。

### [環境設定]

[環境設定]ダイアログボックスを表示します。

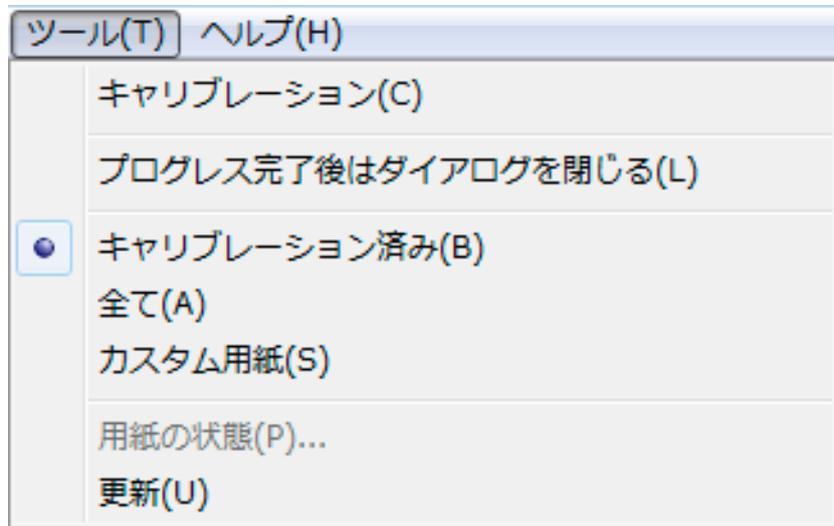
Color Calibration Management Console に表示される単位を切り替えたり、カラーキャリブレーション、測色データの取得またはカラーチェックの実行が完了したときに音を鳴らす設定などができます。

### [終了]

Color Calibration Management Console を終了します。

## [ツール]メニュー([キャリブレーション]シート表示時)

メインウィンドウに[キャリブレーション]シートが表示されているときの[ツール]メニューの各項目について説明します。



### [キャリブレーション]

[カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスを表示します。

選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行できます。

カラーキャリブレーションを実行する手順は、「[カラーキャリブレーションを実行する\(P.26\)](#)」を参照してください。

### [プログレス完了後はダイアログを閉じる]

カラーキャリブレーション終了時に、プログレスダイアログボックスを自動的に閉じるか閉じないかを切り替えます。

チェックマークが付いているときは、プログレスダイアログボックスが自動的に閉じます。

### [キャリブレーション済み]/[全て]/[カスタム用紙]

メインウィンドウ ([キャリブレーション]シート) の用紙リストに表示する用紙種類を選択します。

### [用紙の状態]

[用紙の状態]ダイアログボックスを表示します。

選択した用紙のカラーキャリブレーションやカラーチェックの実行履歴が確認できます。

### [更新]

メインウィンドウの用紙リストを最新の状態にします。

## [ツール]メニュー([色の測定]シート表示時)

メインウィンドウに[色の測定]シートが表示されているときの[ツール]メニューの各項目について説明します。



- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。



### [測色データの取得]

手順説明ウィンドウまたは[実行履歴の選択]ウィンドウを表示します。

選択したプリンタでカラーチャートを測色し、測色データを取得できます。

測色データの取得を実行する手順は、「[任意のカラーチャートの測色データを取得する\(P.30\)](#)」を参照してください。

### [カラーチェック]

[カラーチェックの実行]ダイアログボックスを表示します。

選択したプリンタのカラーチェックを実行できます。

カラーチェックを実行する手順は、「[カラーチェックを実行する\(P.39\)](#)」を参照してください。

### [手順説明ウィンドウの表示]

[測色データの取得]を実行するときに、手順説明ウィンドウを表示するかしないかを切り替えます。

チェックマークが付いているときは、手順説明ウィンドウが表示されます。

### [プログレス完了後はダイアログを閉じる]

[カラーチェック]または[測色データの取得]終了時に、プログレスダイアログボックスを自動的に閉じるか閉じないかを切り替えます。

チェックマークが付いているときは、プログレスダイアログボックスが自動的に閉じます。

### [お気に入り]

[お気に入りの管理]ダイアログボックスを表示します。  
お気に入りに登録されている実行履歴が確認できます。

### [履歴の詳細]

[実行履歴の詳細]ダイアログボックスを表示します。  
メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴の詳細が確認できます。

### [データ保存]

[測色データの出力]ダイアログボックスを表示します。  
メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴の測色データをコンピュータに保存します。



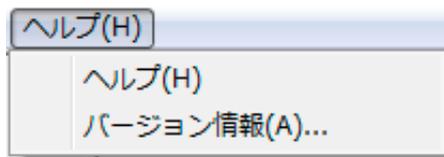
- 実行履歴を複数選択している場合、このメニューは選択できません。
- 

### [実行履歴の CSV 出力]

[選択した履歴]を選択すると、メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴を CSV 形式のファイルでコンピュータに保存します。  
[全ての履歴]を選択すると、メインウィンドウの[実行履歴]に表示されているすべての実行履歴を CSV 形式のファイルでコンピュータに保存します。

## [ヘルプ]メニュー

[ヘルプ]メニューの各項目について説明します。



### [ヘルプ]

Color Calibration Management Console のヘルプを表示します。

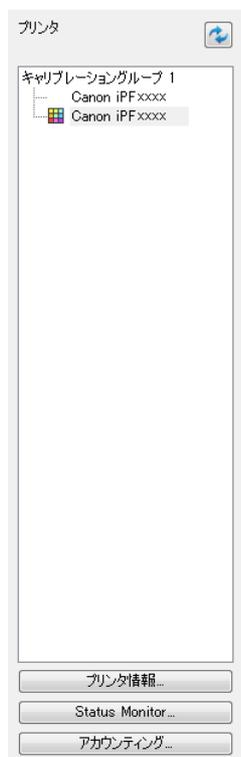
### [バージョン情報]

[バージョン情報]ダイアログボックスが表示され、Color Calibration Management Console のバージョンが確認できます。

## [プリンタ]リスト

[プリンタ]リストに表示されるプリンタは、ネットワークやUSBで接続された以下の条件を満たすプリンタです。ただし、サーバー経由で接続しているプリンタは表示されません。

- Color Calibration Management Console に対応したプリンタ
- プリンタドライバがインストールされているプリンタ



### [プリンタ]

給紙中の用紙でカラーキャリブレーションが実行されている場合、同じ用紙が給紙されているプリンタは、[キャリブレーショングループ]配下に表示されます。

カラーキャリブレーションに関するメッセージがあるプリンタにはが表示されます。

測色ユニットを搭載したプリンタにはが表示されます。

プリンタ名をダブルクリックすると、[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示され、プリンタの詳細情報を確認できます。

### メモ

- Color Calibration Management Console が起動中には、プリンタの追加、プリンタの削除、プリンタ名変更は、[プリンタ]リストに反映されません。[プリンタ]リストに反映したい場合は、Color Calibration Management Console を終了し、再度起動してください。

### ボタン

このボタンをクリックすると、[プリンタ]リストが最新の状態になります。

## [プリンタ]リスト

---

### [プリンタ情報]ボタン

このボタンをクリックすると、選択したプリンタの[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示され、プリンタの詳細情報を確認できます。

### [Status Monitor]ボタン

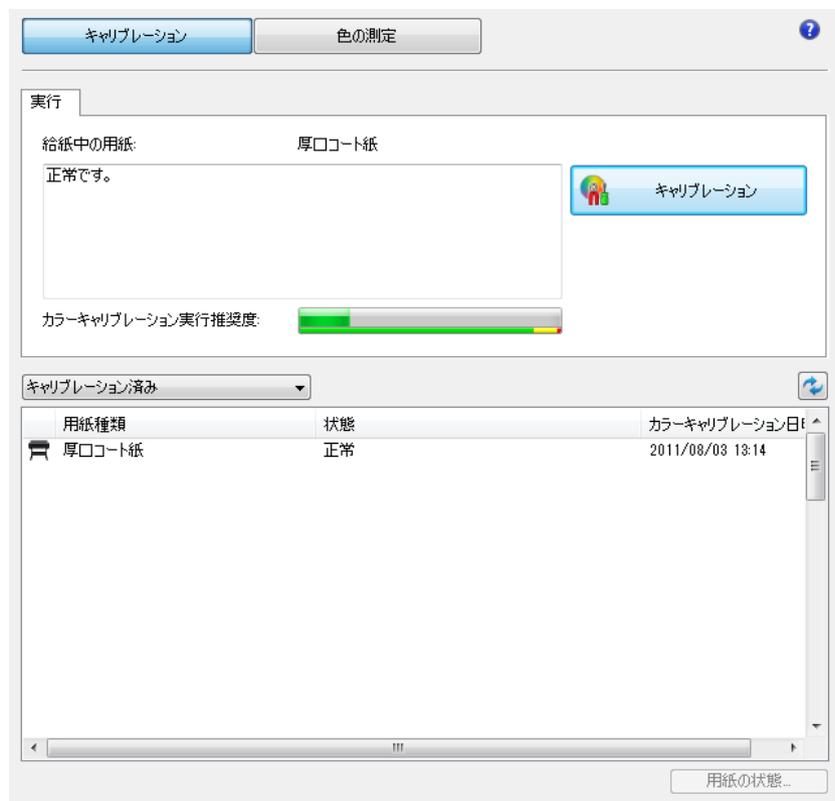
このボタンをクリックすると、選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor が起動し、印刷ジョブの状態などを確認できます。

### [アカウントिंग]ボタン

このボタンをクリックすると、選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor Accounting Manger のメインウィンドウが起動し、印刷にかかったコストなどを確認できます。

## [キャリブレーション]シート

[プリンタ]リストで選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行したり、カラーキャリブレーションの状態を確認できます。



### [給紙中の用紙]

プリンタに給紙されている用紙の種類が表示されます。

### [キャリブレーション]ボタン

このボタンをクリックすると、[カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが表示されます。

選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行できます。

カラーキャリブレーションを実行する手順は、「[カラーキャリブレーションを実行する\(P.26\)](#)」を参照してください。

### [カラーキャリブレーション実行推奨度]

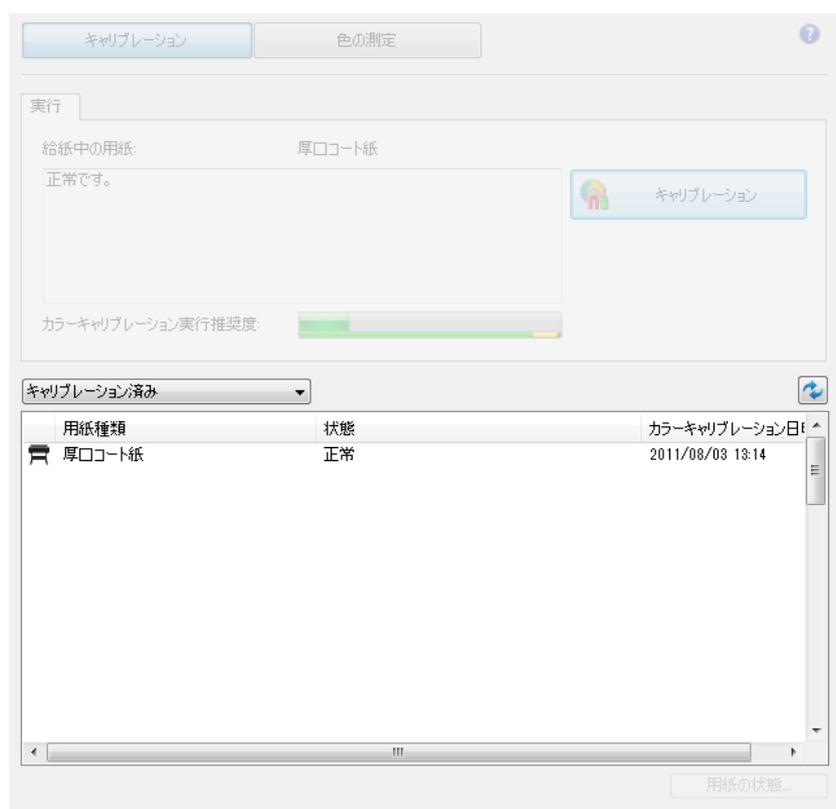
カラーキャリブレーションの実行をお勧めするまでの状態が表示されます。実行をお勧めする時期までプログレスバーが増加していきます。

### [用紙の状態]ボタン

このボタンをクリックすると、[用紙の状態]ダイアログボックスが表示されます。

選択した用紙のカラーキャリブレーションやカラーチェックの実行履歴が確認できます。

## 用紙ごとのカラーキャリブレーション状況



 ボタンをクリックすると、リストが最新の状態になります。プリンタに給紙中の用紙には  が表示されます。

リストに表示される用紙種類は次のとおりです。

### [キャリブレーション済み]選択時

プリンタに登録され、カラーキャリブレーションが実行されている用紙種類が表示されます。

### [全て]選択時

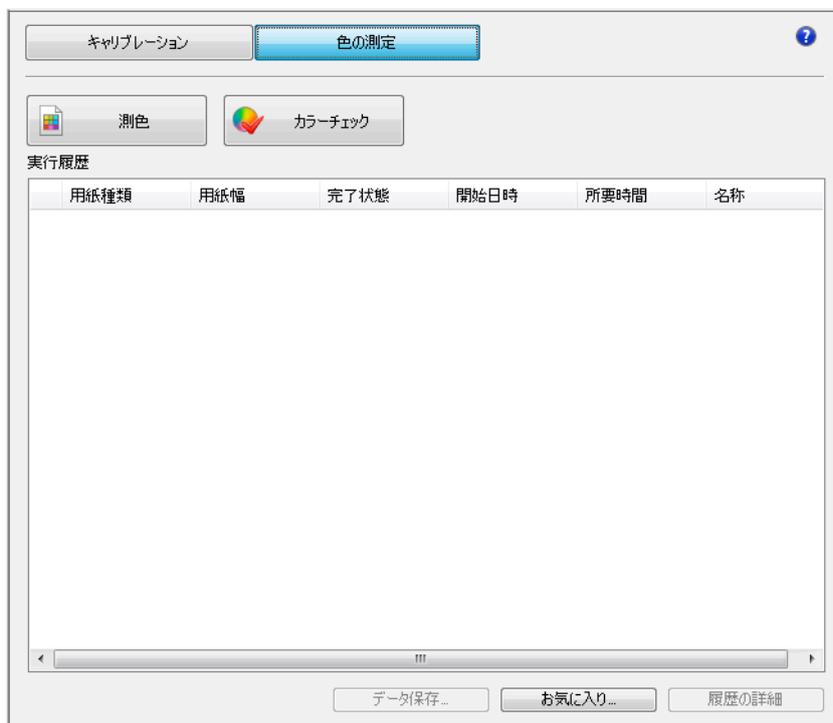
プリンタに登録されている用紙種類が表示されます。

### [カスタム用紙]選択時

プリンタに登録されているキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙種類が表示されます。

## [色の測定]シート

測色ユニットを使って色の測定ができます。



### [測色]ボタン

このボタンをクリックすると、手順説明ウィンドウまたは[実行履歴の選択]ウィンドウが表示されます。選択したプリンタでカラーチャートを測色し、測色データを取得できます。

測色データの取得を実行する手順は、「[任意のカラーチャートの測色データを取得する\(P.30\)](#)」を参照してください。

### [カラーチェック]ボタン

このボタンをクリックすると、[カラーチェックの実行]ダイアログボックスが表示されます。選択したプリンタのカラーチェックを実行できます。

カラーチェックを実行する手順は、「[カラーチェックを実行する\(P.39\)](#)」を参照してください。

### [実行履歴]

測色データを取得した実行履歴が表示されます。

給紙中の用紙にはが表示されます。

[名称]には、お気に入りで登録した名称が表示されます。

### [データ保存]ボタン

このボタンをクリックすると、[測色データの出力]ダイアログボックスが表示されます。

選択されている実行履歴の測色データをコンピュータに保存します。

### [お気に入り]ボタン

このボタンをクリックすると、[お気に入りの管理]ダイアログボックスが表示されます。

## [色の測定]シート

---

お気に入りに登録されている実行履歴が確認できます。

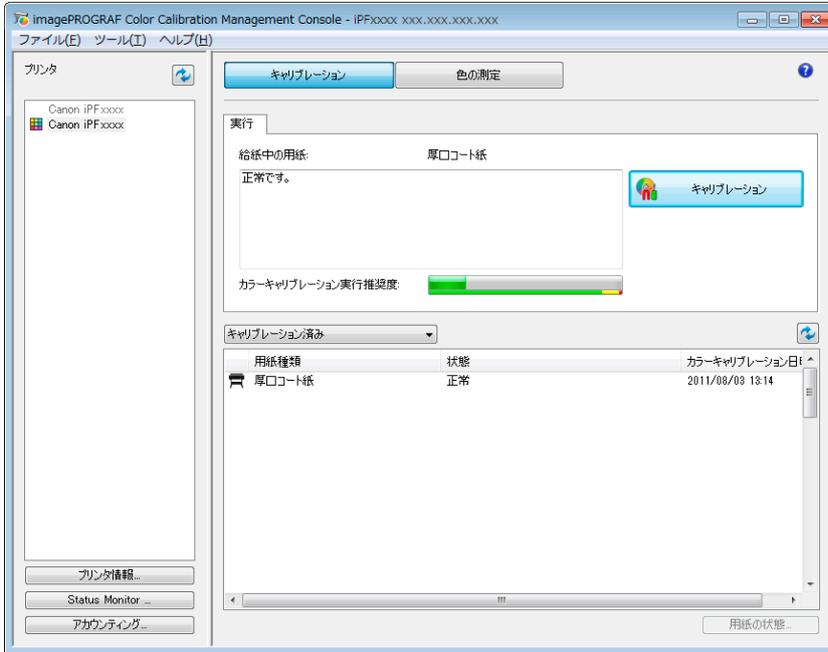
### [履歴の詳細]ボタン

このボタンをクリックすると、[実行履歴の詳細]ダイアログボックスが表示されます。  
選択されている実行履歴の詳細が確認できます。

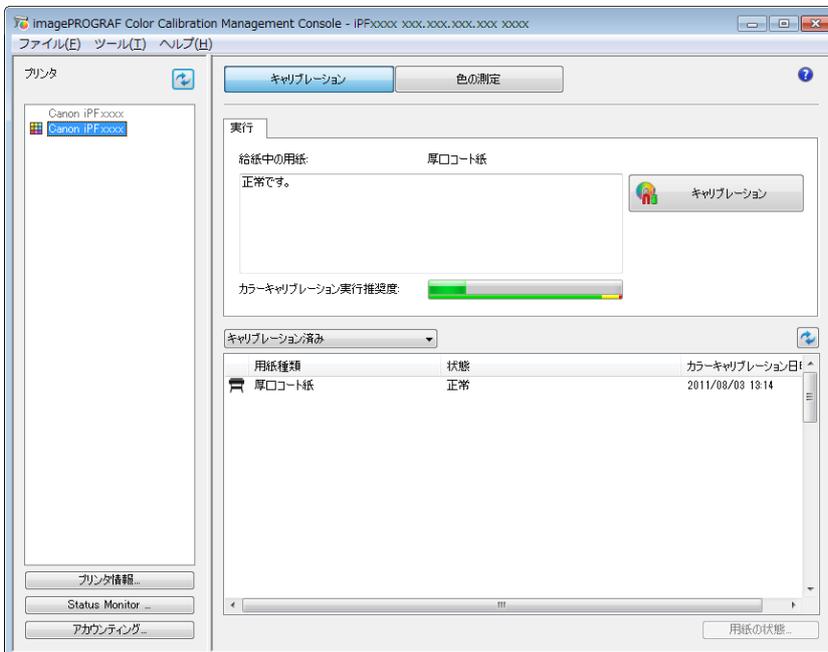
## カラーキャリブレーション状況を確認する

カラーキャリブレーションの状況や実行履歴は、メインウィンドウの[キャリブレーション]シートで確認できます。

- 1 [キャリブレーション]シートを開きます。



- 2 カラーキャリブレーション状況を確認したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

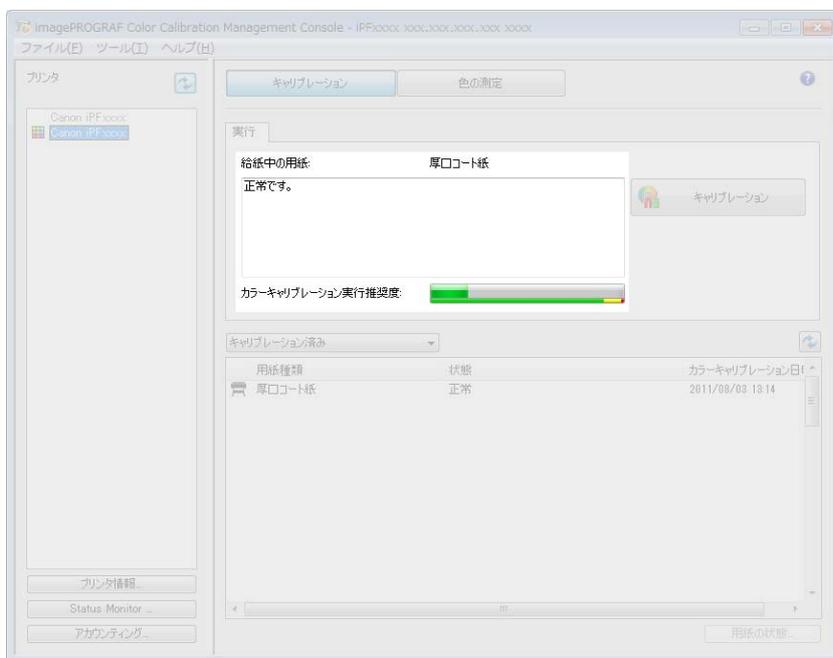


## カラーキャリブレーション状況を確認する

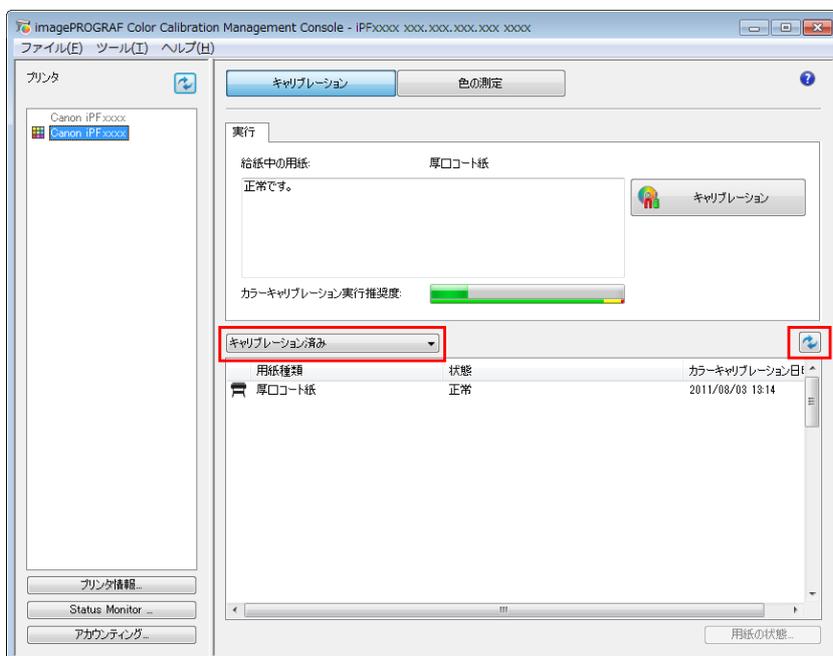


- プリンタが複数台ある場合、同じ用紙種類がセットされていて、その用紙でカラーキャリブレーションが実行されているプリンタは、同じキャリブレーショングループに表示されます。

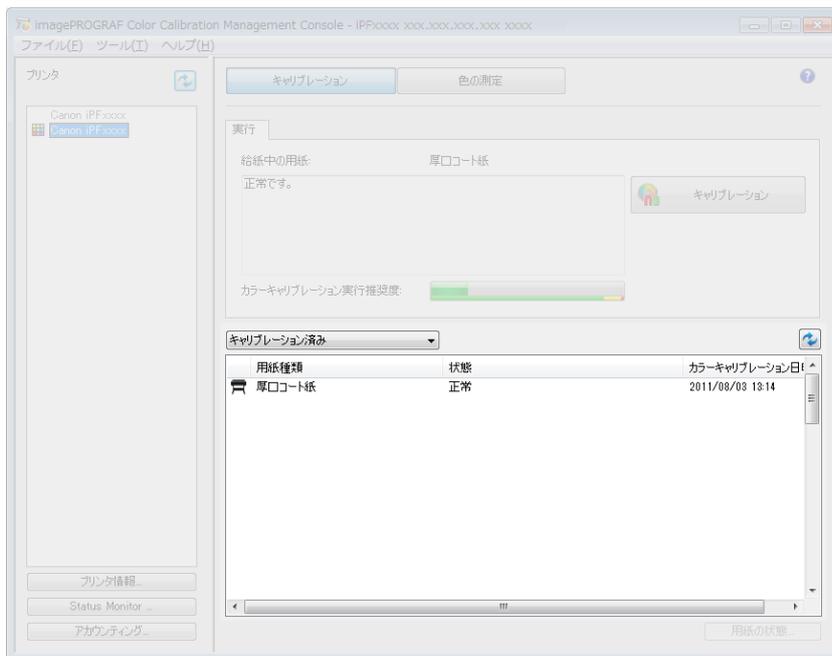
- 3 [キャリブレーション]シートの上で、給紙中の用紙のカラーキャリブレーション状況を確認します。



- 4 [キャリブレーション済み]を選択し、 ボタンをクリックします。



5 [キャリブレーション]シートの下部で、カラーキャリブレーション履歴を確認します。



## カラーキャリブレーションを実行する

カラーキャリブレーションを実行する手順は以下のとおりです。

### プリンタを準備する

- 1 セットする用紙が、カラーキャリブレーションに使用できるか確認します。
- 2 用紙をセットします。



- [自動調整(高精度)]を実行するときに、お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行してください。

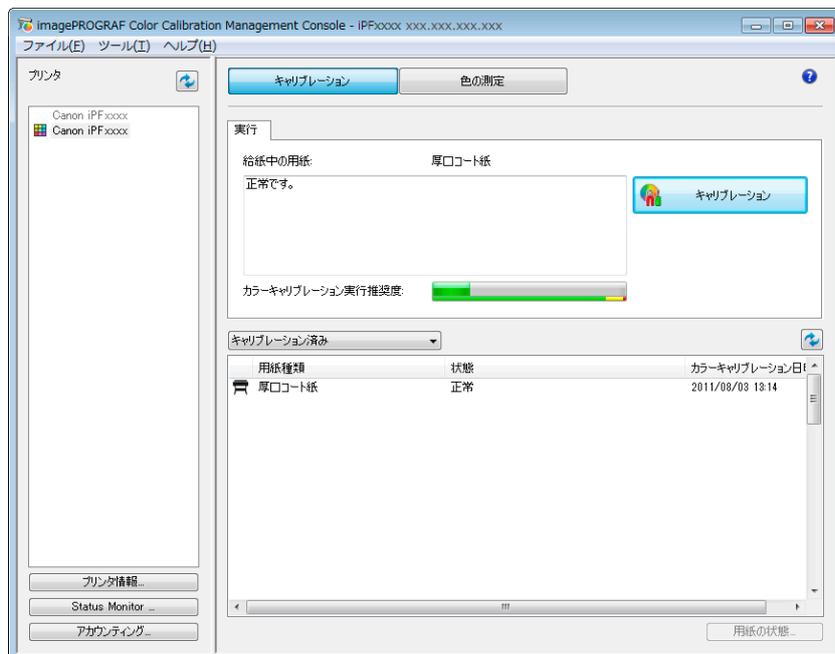
- 3 測色ユニットが搭載されている場合は、ホワイト/ブラックバックングの色を選択します。  
白を選択することをお勧めします。



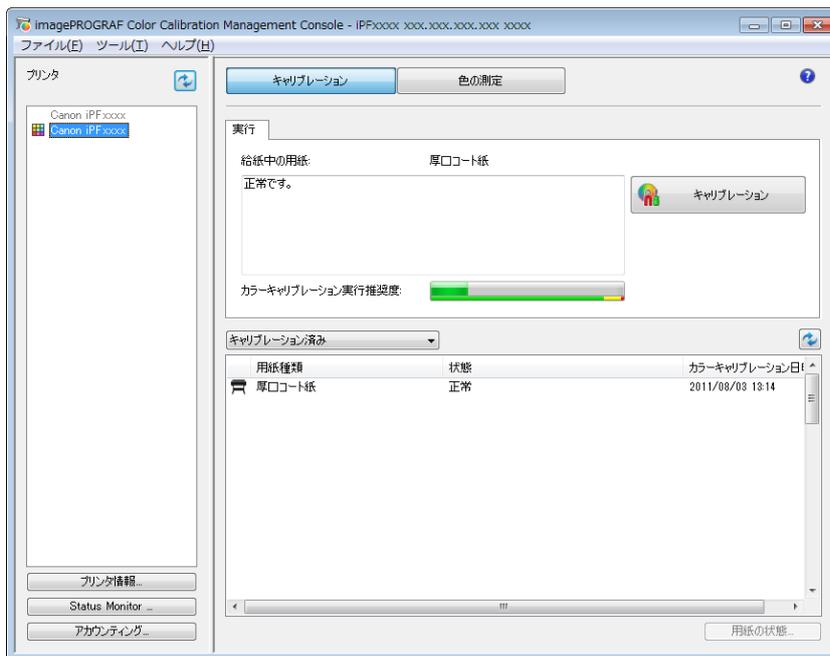
- ホワイト/ブラックバックングの色は、カラーキャリブレーションを実行するごとに変更せず、選択した色を使い続けてください。

## カラーキャリブレーションを実行する

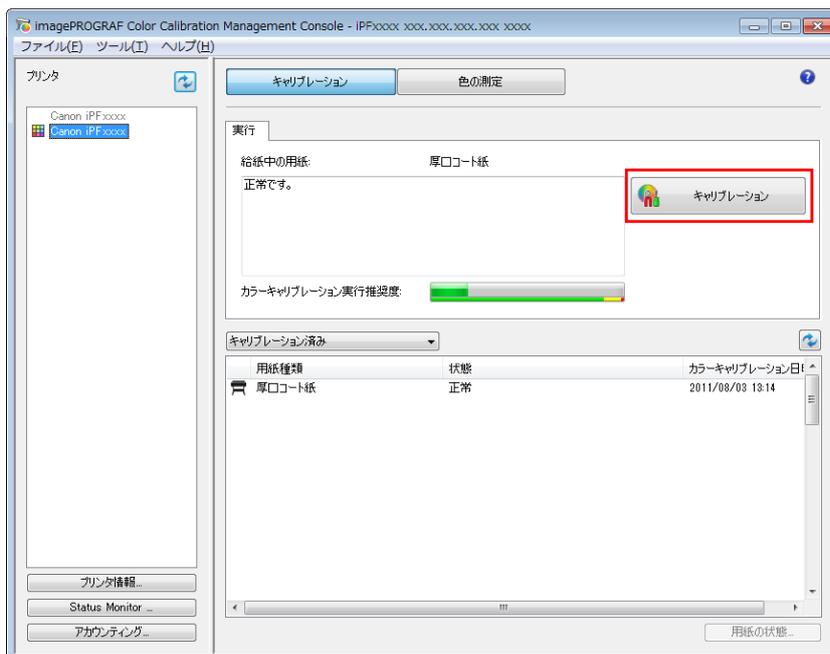
- 1 [キャリブレーション]シートを開きます。



- 2 カラーキャリブレーションを実行したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

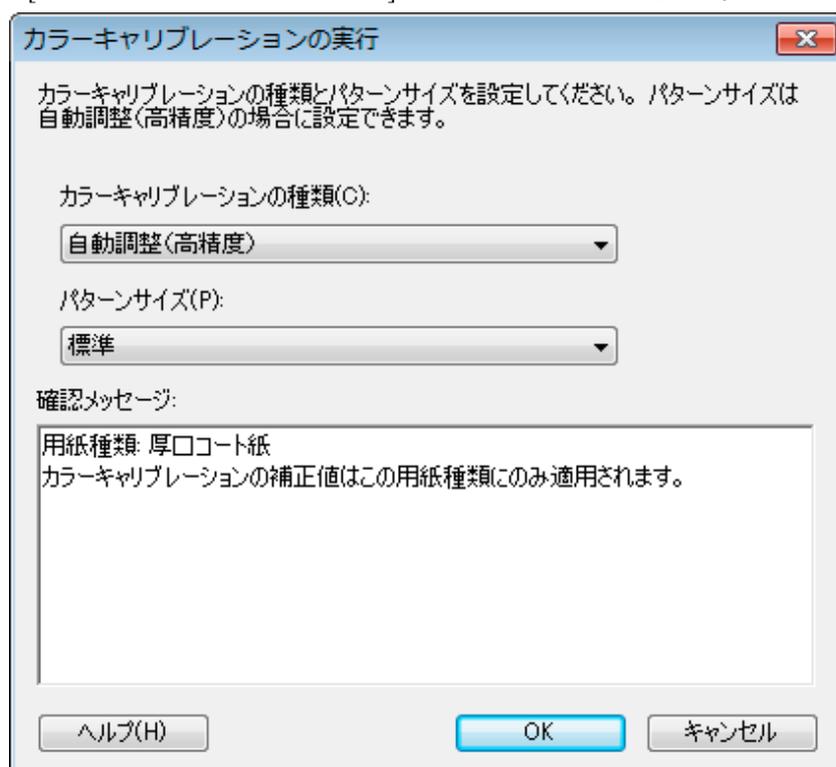


- 3 [キャリブレーション]ボタンをクリックします。



## カラーキャリブレーションを実行する

- 4 [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが開きます。



[カラーキャリブレーションの種類]

[自動調整(高精度)]を選択すると測色ユニットを使ったカラーキャリブレーションが実行され、[自動調整]を選択するとプリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーションが実行されます。



- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

[パターンサイズ]

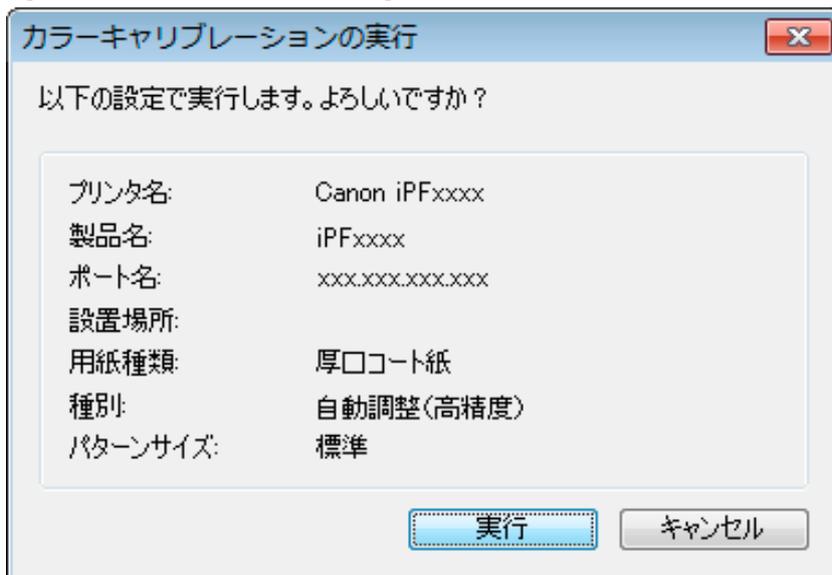
[カラーキャリブレーションの種類]で[自動調整(高精度)]を選択した場合に設定できます。  
測色精度を優先したい場合は、[大きい]を選択することをお勧めします。



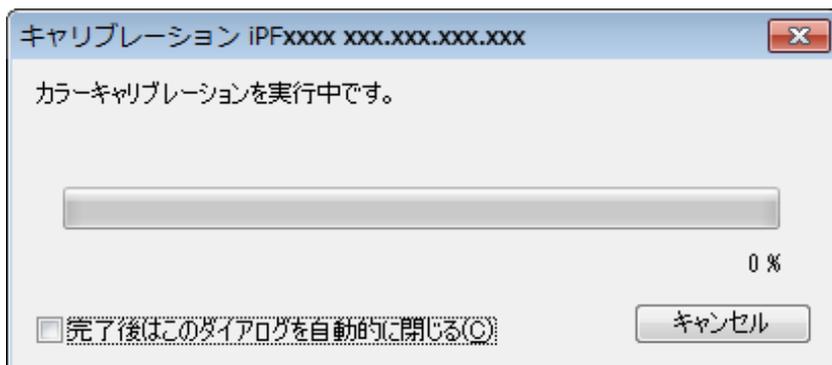
- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

- 5 [OK]ボタンをクリックします。

- 6 [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが表示されますので、内容を確認します。



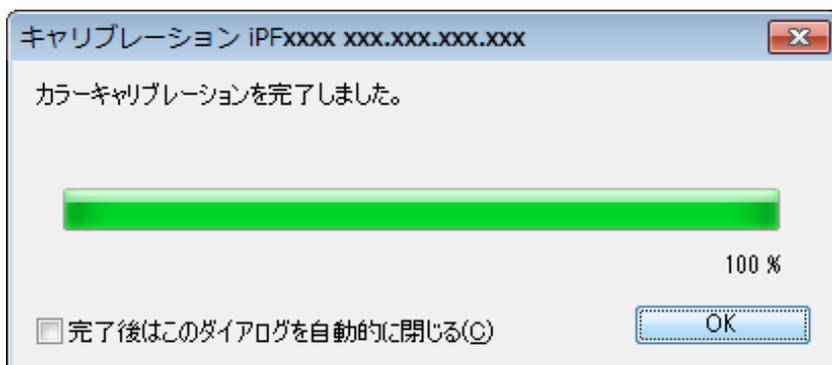
- 7 [実行]ボタンをクリックします。  
カラーキャリブレーションが実行されます。



 メモ

- [キャンセル]ボタンをクリックすると、カラーキャリブレーションを途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

- 8 [OK]ボタンをクリックします。



## 任意のカラーチャートの測色データを取得する

任意のカラーチャートを印刷して測色し、測色データをコンピュータに保存する手順は以下のとおりです。コンピュータに保存した測色データは、ICC プロファイルの作成などに使用します。ICC プロファイルの作成は市販のソフトウェアで行います。

作成した ICC プロファイルは、プリンタドライバで使用できます。



- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

## プリンタを準備する

- セットする用紙が、測色データの取得に使用できるか確認します。
- 用紙をセットします。

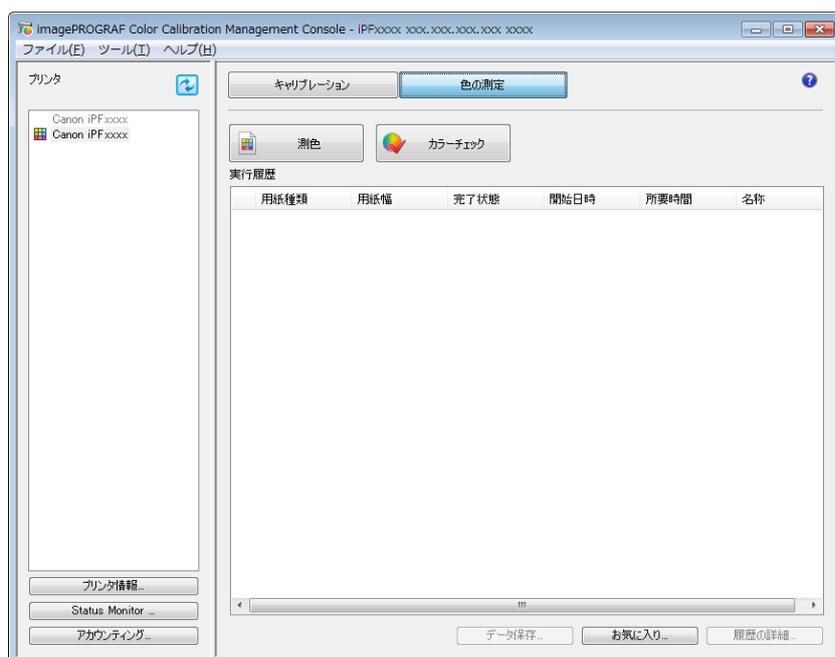


- お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行してください。

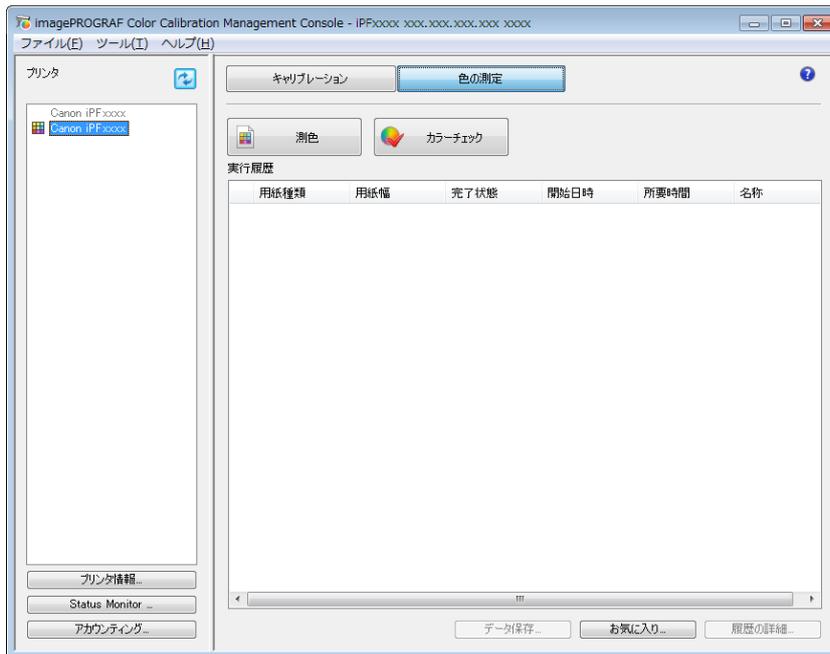
- ホワイト/ブラックバックキングの色を選択します。

## 測色データの取得を実行する

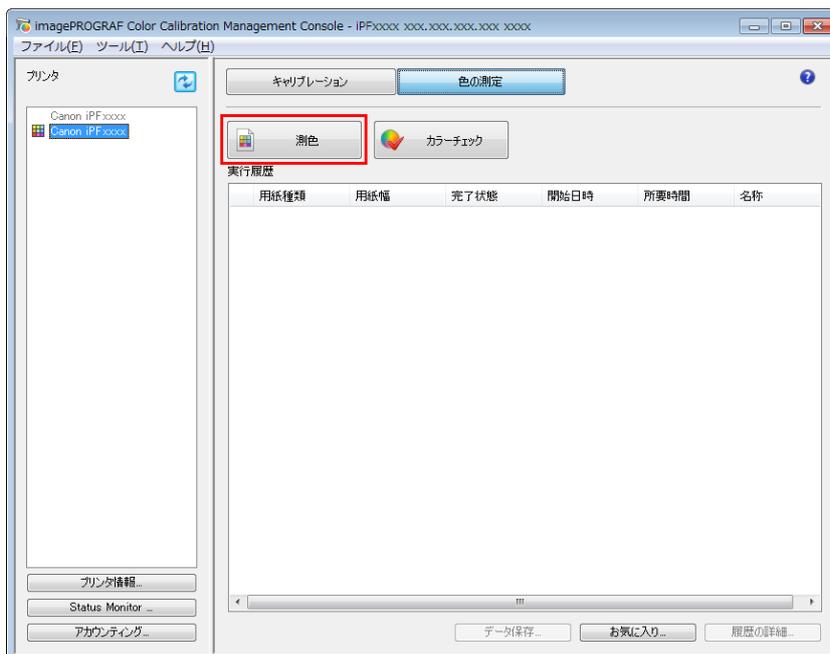
- [色の測定]シートを開きます。



- 2 カラーチャートを測色したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。



- 3 [測色]ボタンをクリックします。

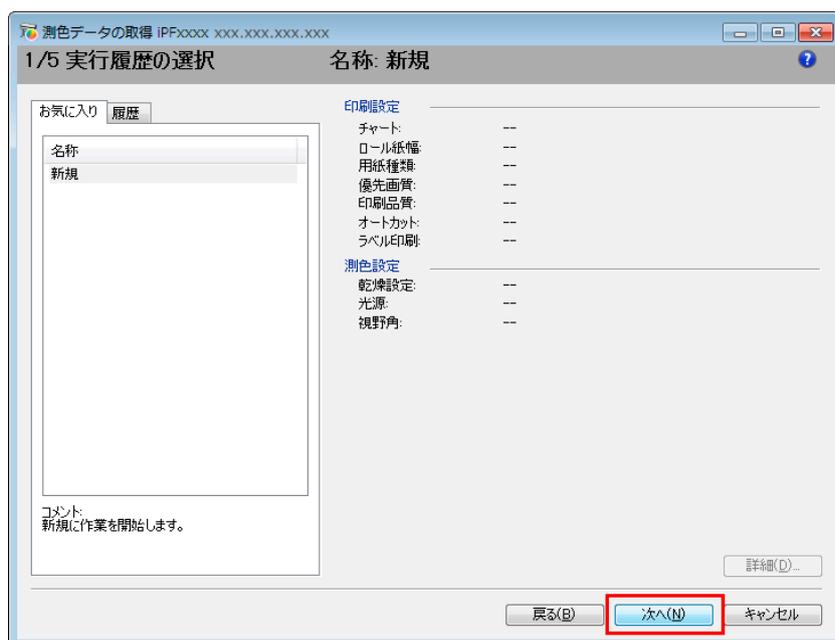


## 任意のカラーチャートの測色データを取得する

- 4 手順説明ウィンドウでカラーチャートの測色手順を確認して[開始]をクリックします。



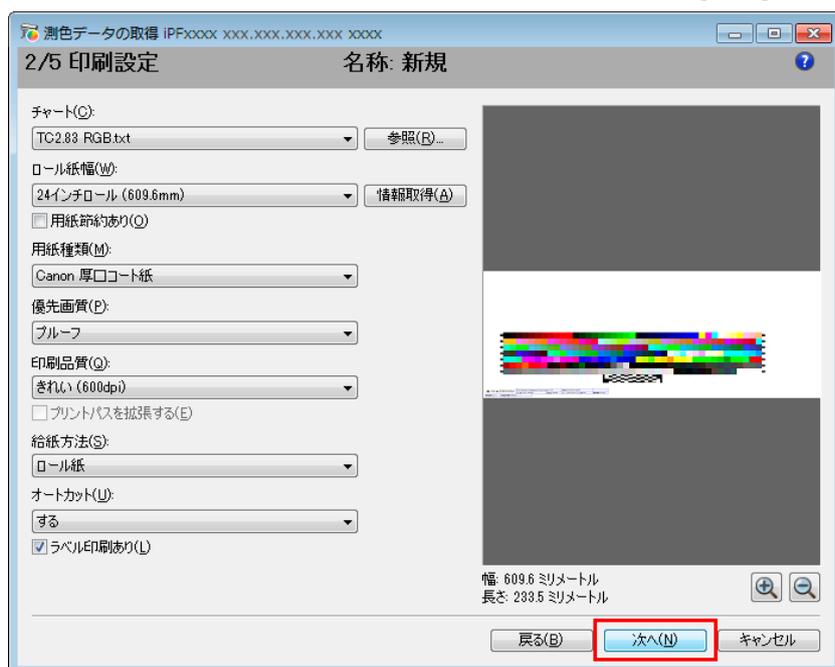
- 5 [お気に入り]で[新規]を選択して[次へ]をクリックします。



### メモ

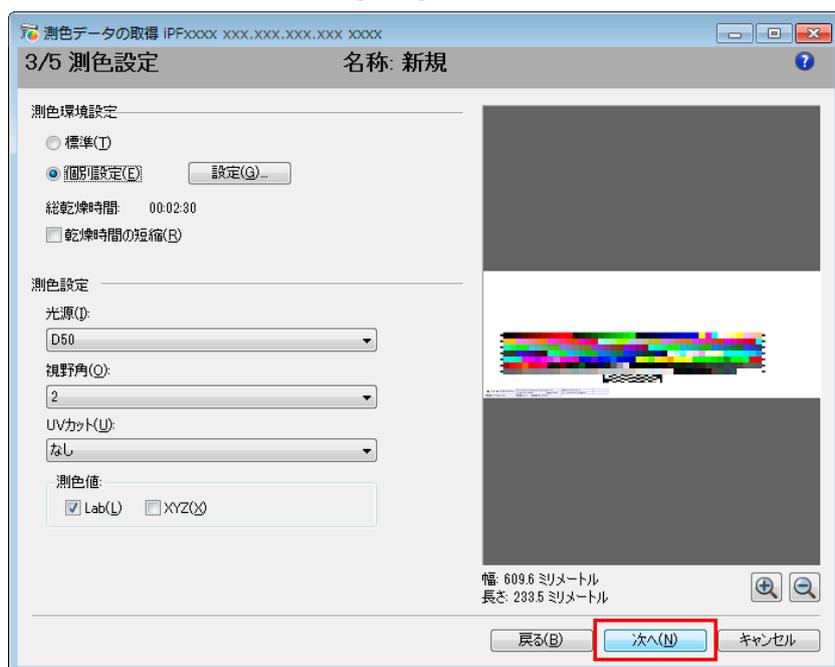
- 以前実行したときの設定値でカラーチャートの測色を行う場合は、[お気に入り]シートまたは[履歴]シートで実行履歴を選択します。

## 6 カラーチャートを選択してカラーチャートの印刷設定を行い、[次へ]をクリックします。



設定項目	内容
[チャート]	印刷するカラーチャートを選択します。印刷するカラーチャートがリストに表示されないときは、[参照]ボタンをクリックして選択します。 選択できるカラーチャートは CGATS 形式の RGB のみです。
[ロール紙幅]	[情報取得]ボタンをクリックすると、プリンタに装着されているロール紙の幅が表示されます。
[用紙節約あり]	チェックボックスをオンにすると、カラーチャートが分割して印刷される場合に、カラーチャートの間隔が狭くなり、用紙を節約できます。
[用紙種類]	用紙の種類を選択します。
[優先画質]	印刷結果において、特に重視する要素を選択します。
[印刷品質]	印刷品質を選択します。
[プリントパスを拡張する]	[印刷品質]で[最高]を選択して印刷した場合、印刷ムラが発生することがあります。チェックボックスをオンにすると、印刷ムラが改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。
[給紙方法]	用紙の給紙方法を選択します。
[オートカット]	[測色データの取得]完了時に用紙をどのようにカットするかを選択します。
[ラベル印刷あり]	チェックボックスをオンにすると、カラーチャートの印刷情報が印刷されます。

7 測色設定と乾燥設定を行い、[次へ]をクリックします。



設定項目	内容
[測色環境設定]	印刷するカラーチャートのパターンサイズと印刷したカラーチャートの乾燥設定を行います。 [標準]を選択すると、標準的なパターンサイズで印刷し、標準的な設定値で乾燥を行います。 [設定]ボタンをクリックして[測色環境設定]ダイアログボックスを表示すると、パターンサイズと乾燥方法を詳細に設定できます。(*1)
[乾燥時間の短縮]	チェックボックスをオンにすると、乾燥時間が短縮します。 [環境設定]ダイアログボックスの[測色環境]シートで設定した時間が経過すると、それ以降、送風ファンによる乾燥は行わず、測色を続行します。 [環境設定]ダイアログボックスでは、自然乾燥で十分に乾燥する時間を設定してください。インクが乾いていない状態で測色を行うと、正しく測定されない場合があります。 [環境設定]ダイアログボックスは、[ファイル]メニューの[環境設定]をクリックすると表示されます。 パターンの数が少ないと、[環境設定]ダイアログボックスで設定した時間よりも短い時間で乾燥が終わります。この場合、[乾燥時間の短縮]チェックボックスをオンにしても乾燥時間は短縮されません。
[光源]	光源を[D50]、[D65]、[A]から選択します。
[視野角]	視野角を選択します。
[UV カット]	UV カットのあり、なしを選択します。

設定項目	内容
[測色値]	チェックボックスがオンの測色値で測色データを保存します。 [Lab]チェックボックスはオフにできません。

\*1:カラーチャートのパターンを大きくしたり、カラーチャートの乾燥設定を詳細に行いたいときは、[設定]ボタンをクリックして[測色環境設定]ダイアログボックスを表示します。

**測色環境設定**

パターンサイズ(P):  
 標準  
 大きい

乾燥方法:  
 送風ファン(V)  
 パターン6行毎の乾燥時間を指定します。  
 時間(Q)  秒 (10-3600秒)  
 乾燥時間の短縮(B)

風量(A)

自然乾燥(Y)  
 分割されたチャート毎に乾燥する(S)  
 時間  分 (0~24時間)

総乾燥時間: 00:02:30

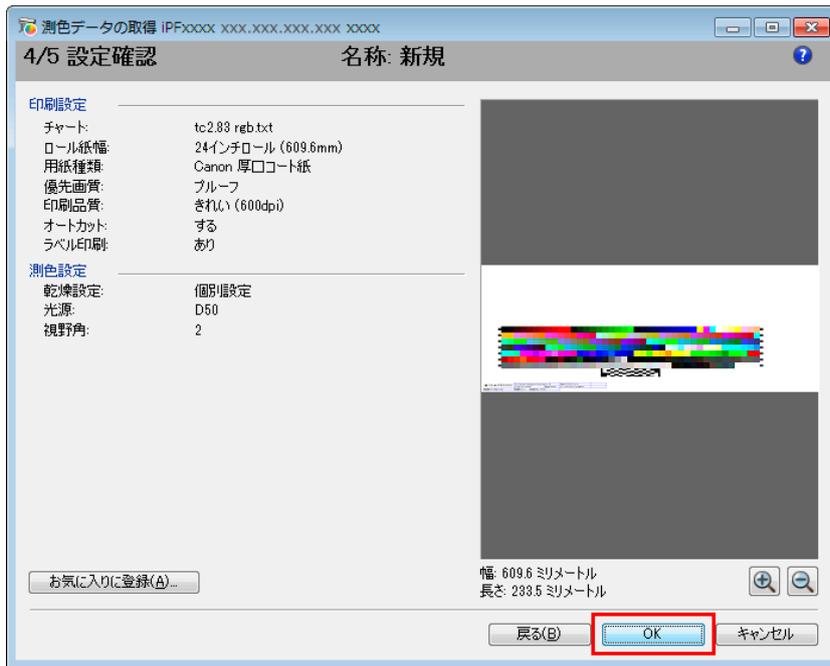
送風ファンの位置(I):  
 標準  
 高い

設定項目	内容
[パターンサイズ]	カラーチャートのパターンサイズを選択します。 測色精度を優先したい場合は、[大きい]を選択することをお勧めします。
[乾燥方法]	送風ファンを使って乾燥するときは[送風ファン]、送風ファンを使わないで乾燥するときは[自然乾燥]を選びます。
[送風ファン]	送風ファンによる乾燥時間と風量を設定します。
[時間]	パターンごとに送風ファンによって乾燥する時間を設定します。 [パターンサイズ]で選択したサイズによって、送風ファンで一度に乾燥する行数が変わります。 時間を増やすと、インクの定着が良くなり、色味が安定します。
[乾燥時間の短縮]	チェックボックスをオンにすると、乾燥時間が短縮します。

任意のカラーチャートの測色データを取得する

設定項目	内容
	<p>[環境設定]ダイアログボックスの[測色環境]シートで設定した時間が経過すると、それ以降、送風ファンによる乾燥は行わず、測色を続行します。</p> <p>[環境設定]ダイアログボックスでは、自然乾燥で十分に乾燥する時間を設定してください。インクが乾いていない状態で測色を行うと、正しく測定されない場合があります。</p> <p>[環境設定]ダイアログボックスは、[ファイル]メニューの[環境設定]をクリックすると表示されます。</p> <p>パターンの数が少ないと、[環境設定]ダイアログボックスで設定した時間よりも短い時間で乾燥が終わります。この場合、[乾燥時間の短縮]チェックボックスをオンにしても乾燥時間は短縮されません。</p>
[風量]	送風ファンの風量を選択します。
[自然乾燥]	<p>カラーチャートが印刷されてから測色を開始するまでの時間を設定します。</p> <p>[分割されたチャート毎に乾燥する]チェックボックスをオンにすると、分割したカラーチャートごとに印刷と自然乾燥を繰り返します。カラーチャートに傷や汚れがつきにくくなりますが、作業時間は長くなります。</p> <p>[分割されたチャート毎に乾燥する]チェックボックスをオフにすると、一度にカラーチャートの印刷と自然乾燥を行います。作業時間が短くなりますが、カラーチャートと用紙の端部に傷や汚れがつく場合があります。ただし、測色結果には影響がありません。</p>
[送風ファンの位置]	<p>カールの強い用紙を使用する場合や乾きにくい用紙を使用する場合は、押圧板に用紙が接触しないよう、[高い]を選択してください。</p> <p>ただし、[高い]を選択した場合は、送風ファンと用紙の距離が離れるため、[標準]を選択した場合に比べて、[時間]を長く設定したり[風量]を強く設定することをお勧めします。</p>

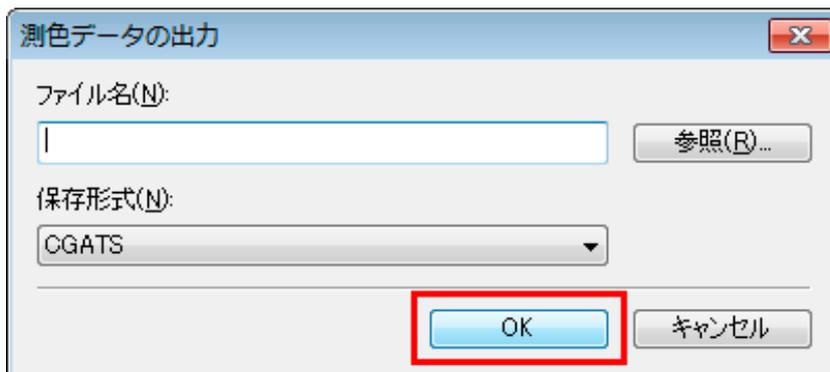
- 8 [設定確認]ウィンドウが表示されます。設定内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。



メモ

- [お気に入りに登録]ボタンをクリックすると、[お気に入りに登録]ダイアログボックスが表示され、設定内容をお気に入りに登録できます。

- 9 [測色データの出力]ダイアログボックスが表示されます。  
測色データを保存するファイルを設定して[OK]ボタンをクリックします。



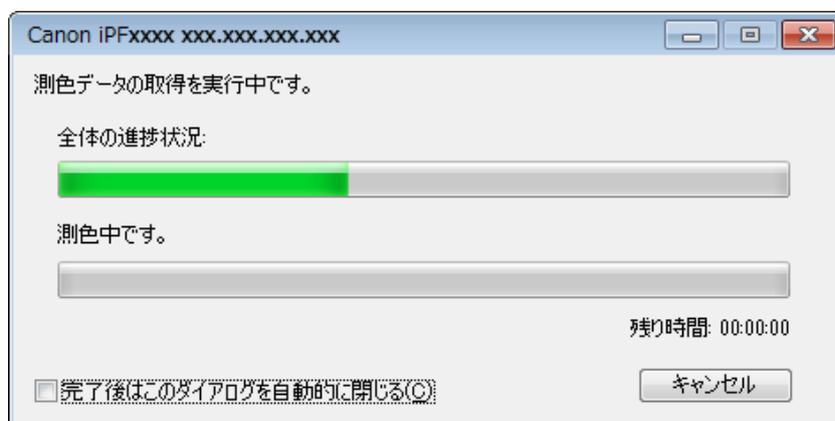
- 10 [測色データの取得]ダイアログボックスが表示されます。

## 任意のカラーチャートの測色データを取得する

[実行]ボタンをクリックします。



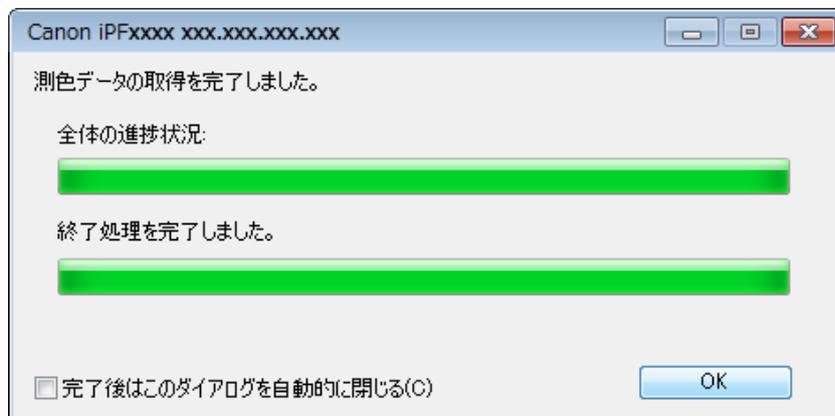
カラーチャートを印刷し、測色が開始します。



### メモ

- [キャンセル]ボタンをクリックすると、測色データの取得を途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

## 11 [OK]ボタンをクリックします。



測色が完了すると、測色データがコンピュータに保存されます。

## カラーチェックを実行する

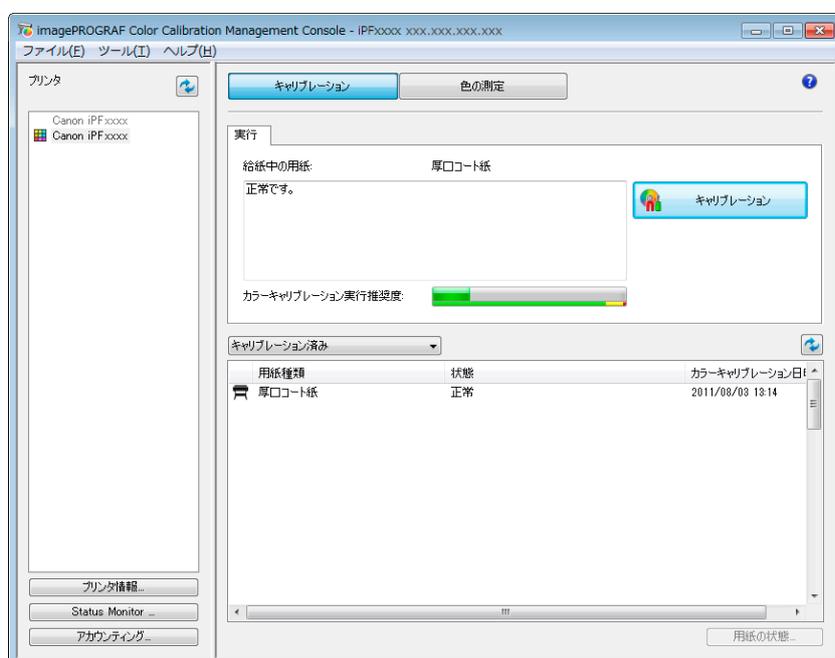
カラーチェックを実行すると、内蔵パターンを印刷し、プリンタに登録されているキャリブレーションターゲットとの色差が算出され、チェック結果が表示されます。



- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
- カラーチェックの調整用パターンが印刷される際には、操作パネルのメニューで[調整値有効設定]が[無効]に設定されていても、キャリブレーション調整値が適用されます。

## カラーチェックのしきい値を設定する

- 1 カラーチェックを実行したいプリンタを[プリンタ]リストでダブルクリックします。

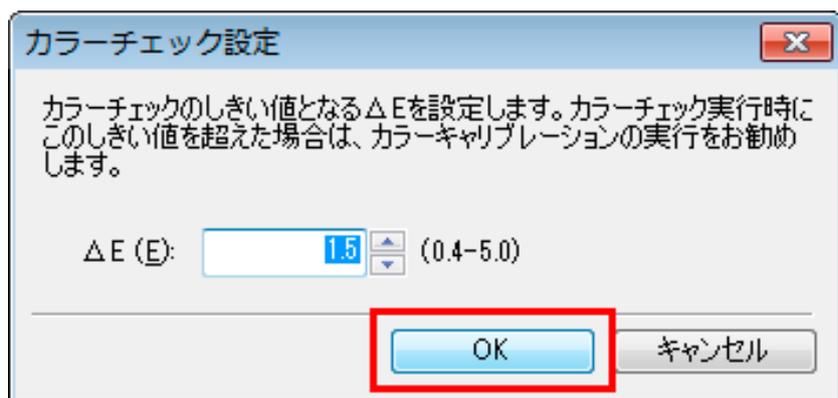


## カラーチェックを実行する

- 2 [プリンタ情報]ダイアログボックスで[カラーチェック]の[設定]ボタンをクリックします。



- 3 [ΔE]にカラーチェックのしきい値を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



## プリンタを準備する

- 1 セットする用紙が、カラーチェックに使用できるか確認します。  
カラーチェックに使用できる用紙は、測色ユニットによる[自動調整(高精度)]が実行できる用紙です。
- 2 用紙をセットします。



- お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行してください。

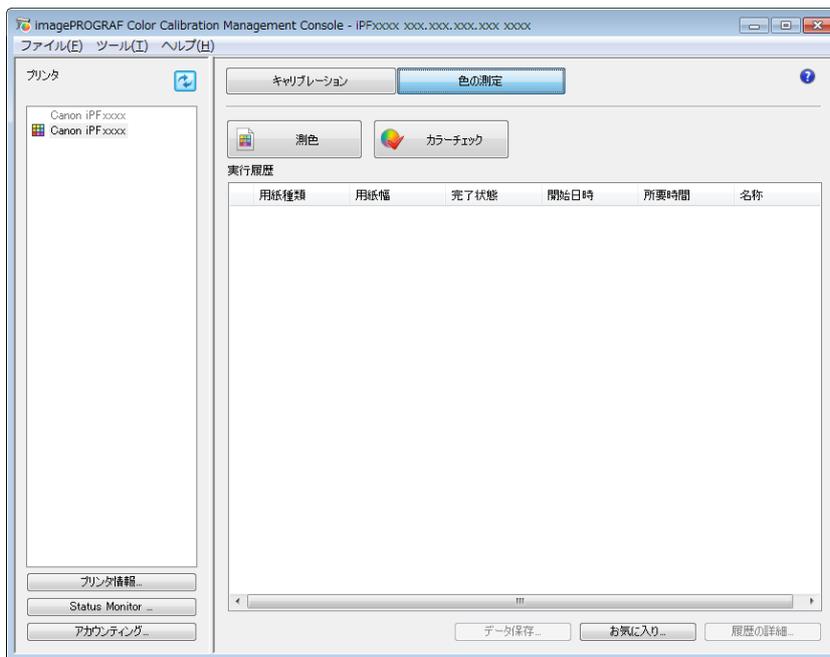
3 ホワイト/ブラックバックングの色を選択します。



- ホワイト/ブラックバックングの色は、測色ユニットでカラーキャリブレーションを実行したときの色を選択してください。  
(「[カラーキャリブレーションを実行する\(P.26\)](#)」参照)

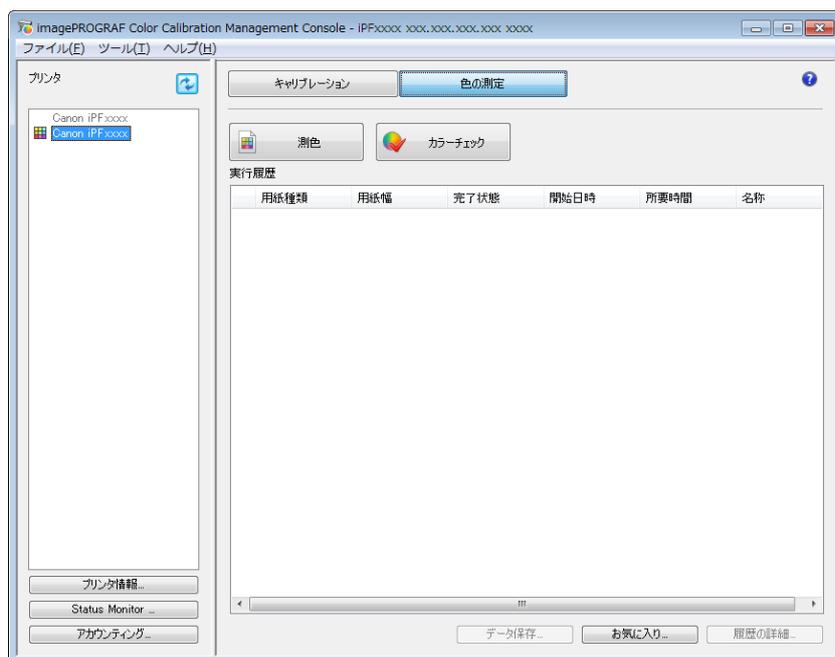
## カラーチェックを実行する

1 [色の測定]シートを開きます。

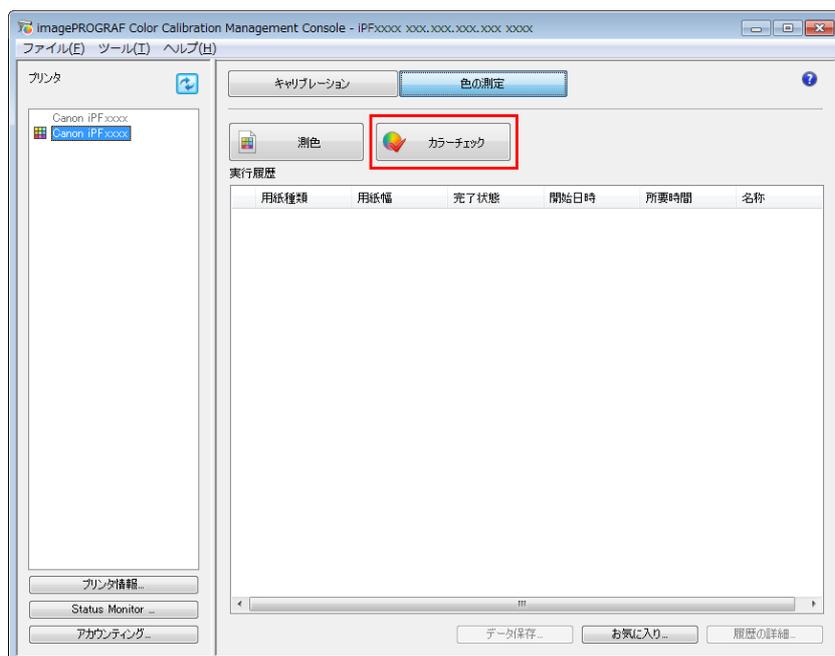


## カラーチェックを実行する

- 2 カラーチェックを実行したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

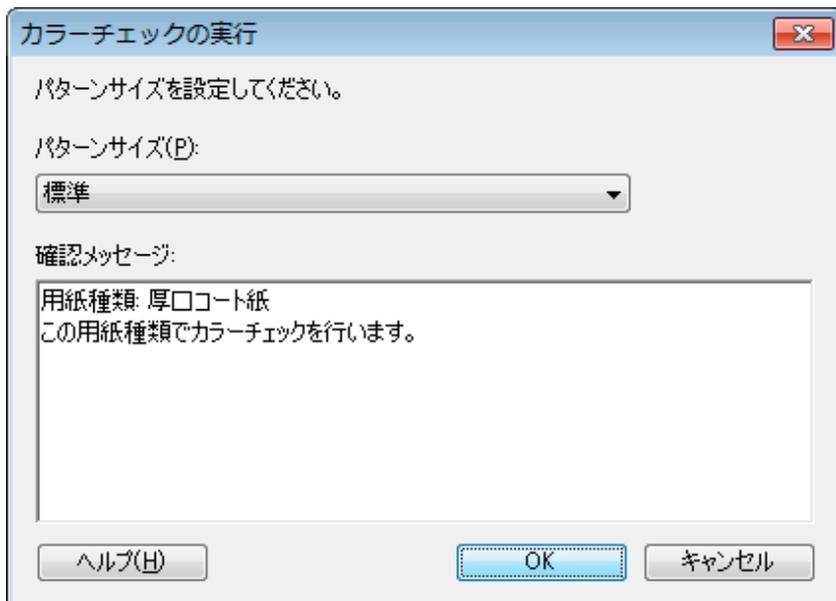


- 3 [カラーチェック]ボタンをクリックします。

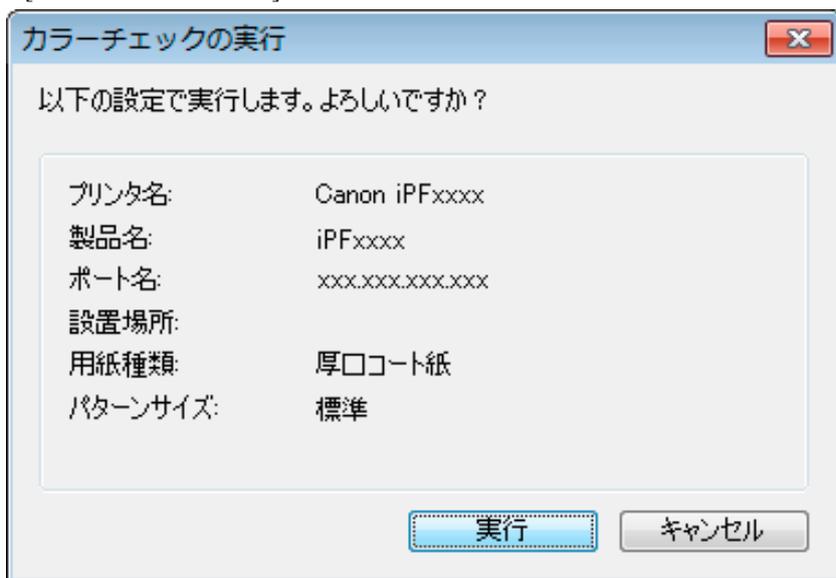


- 4 [カラーチェックの実行]ダイアログボックスが開きます。  
[パターンサイズ]を選択します。

カラーチェックの精度を高くする場合は、カラーキャリブレーションで[自動調整(高精度)]を実行したときと同じ設定にすることをお勧めします。(「[カラーキャリブレーションを実行する\(P.26\)](#)」参照)



- 5 [OK]ボタンをクリックします。
- 6 [カラーチェックの実行]ダイアログボックスが表示されますので、内容を確認します。

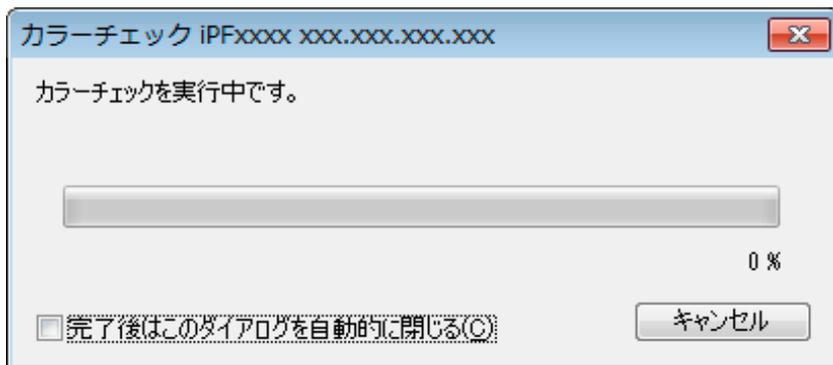


- 7 [実行]ボタンをクリックします。

## カラーチェックを実行する

---

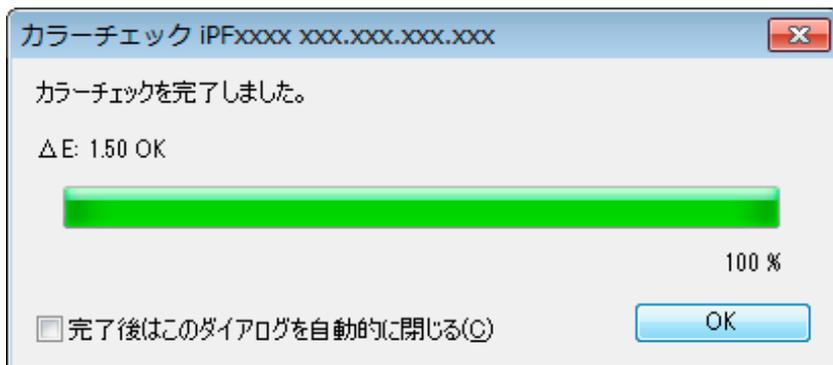
カラーチェックが実行されます。



### メモ

- [キャンセル]ボタンをクリックすると、カラーチェックを途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

## 8 判定結果を確認します。



### メモ

- 結果がしきい値を超えていた場合は、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。  
(「[カラーキャリブレーションを実行する\(P.26\)](#)」参照)

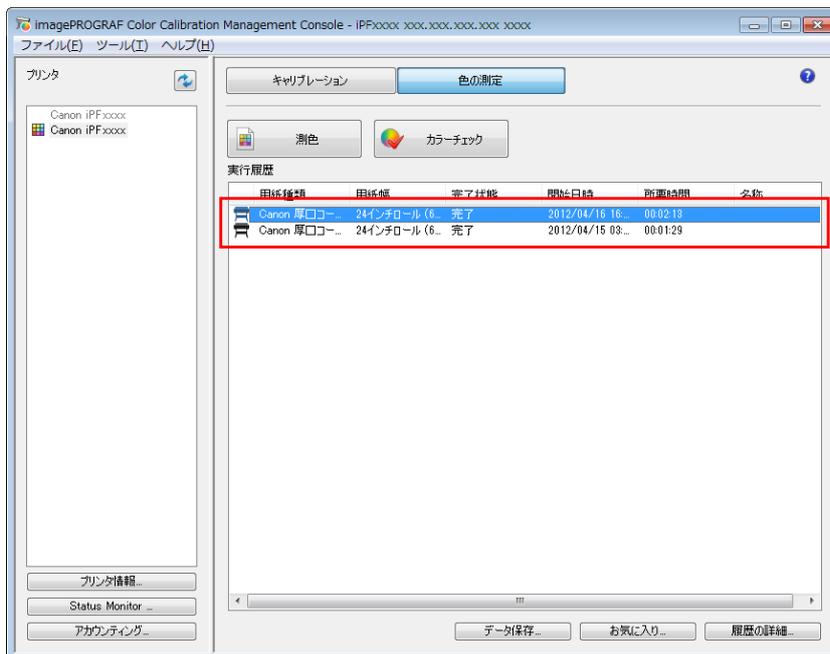
## 実行履歴をお気に入りに登録する

[測色データの取得]で、よく使用する実行履歴をお気に入りに登録できます。お気に入りに登録しておくことで、個別の名称を付けて簡単に呼び出すことができます。



- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
- お気に入りに登録できる実行履歴は 30 件までです。

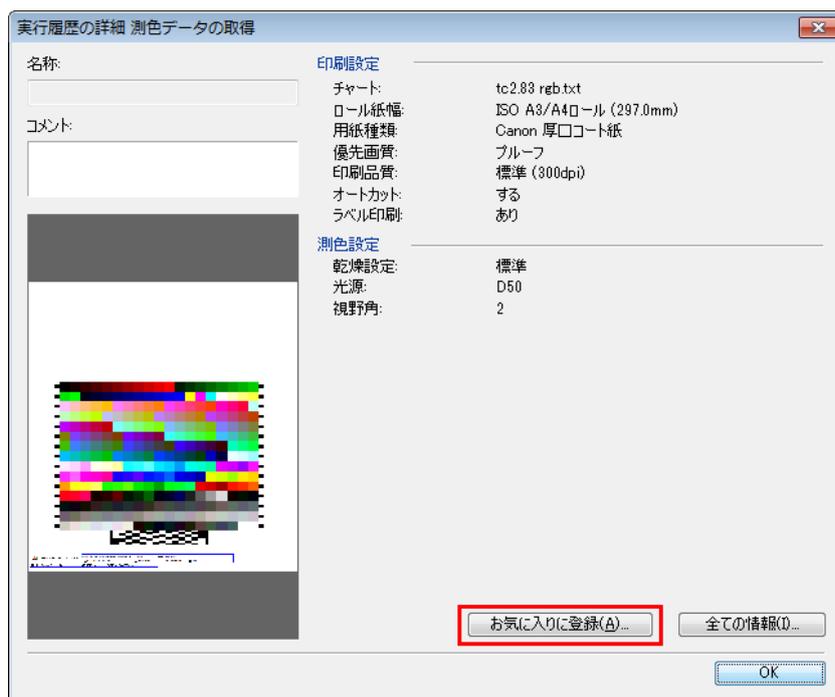
1 メインウィンドウ([色の測定]シート)の[実行履歴]でお気に入りに登録する実行履歴を選択します。



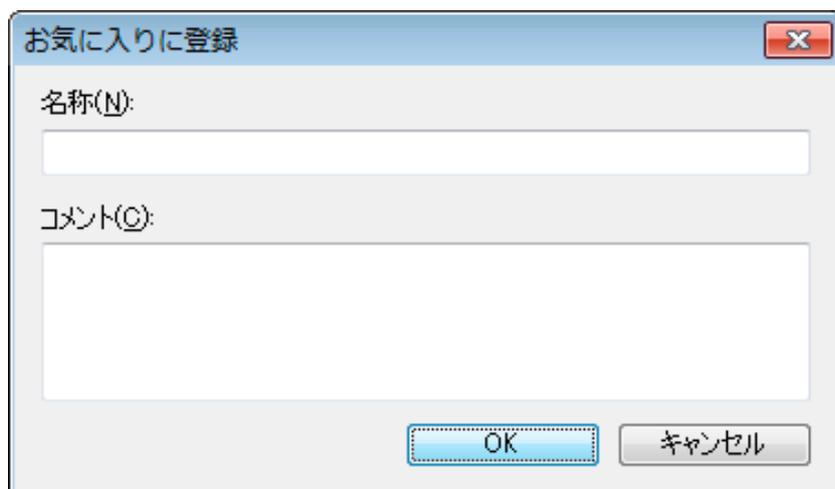
2 [履歴の詳細]ボタンをクリックします。

## 実行履歴をお気に入りに登録する

- 3 [実行履歴の詳細]ダイアログボックスで[お気に入りに登録]ボタンをクリックします。



- 4 [名称]に名前を入力します。必要であれば、[コメント]にコメントを入力します。



- 5 [OK]ボタンをクリックします。

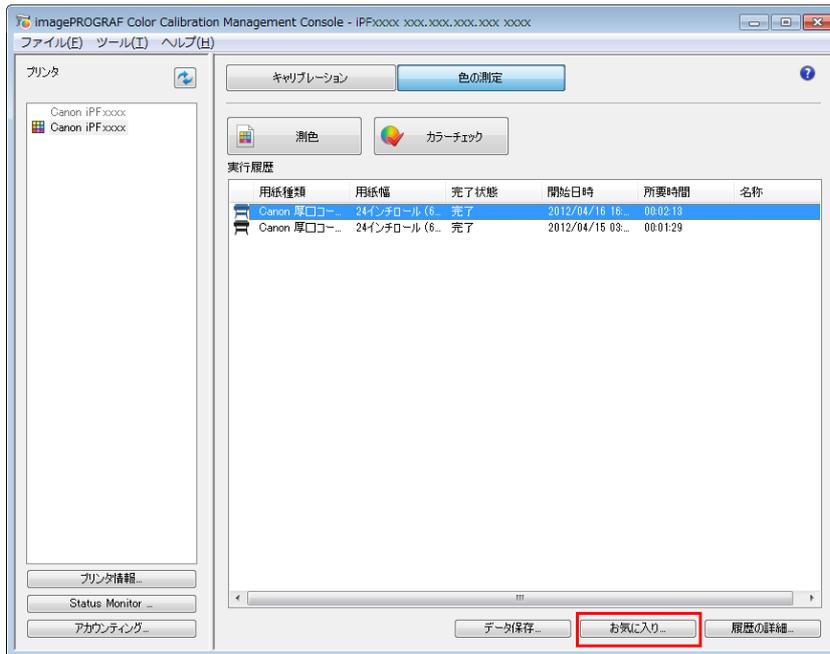
## 実行履歴をお気に入りから削除する

[測色データの取得]の実行履歴をお気に入りから削除します。



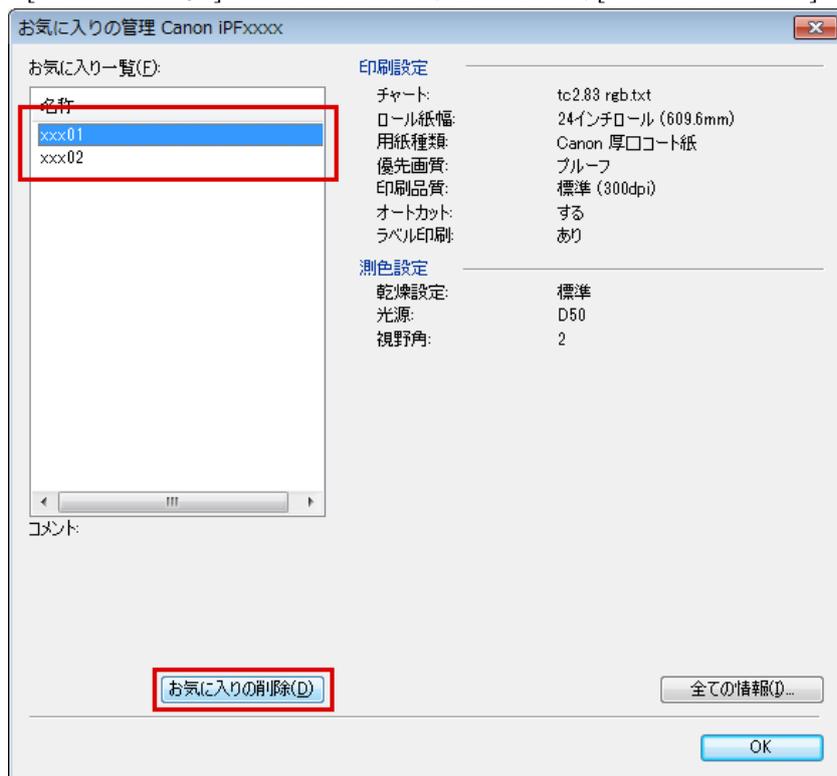
- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

- 1 メインウィンドウ([色の測定]シート)で[お気に入り]ボタンをクリックします。



## 実行履歴をお気に入りから削除する

- 2 [お気に入り一覧]で削除したい実行履歴を選択し、[お気に入りの削除]ボタンをクリックします。



- 3 [OK]ボタンをクリックします。

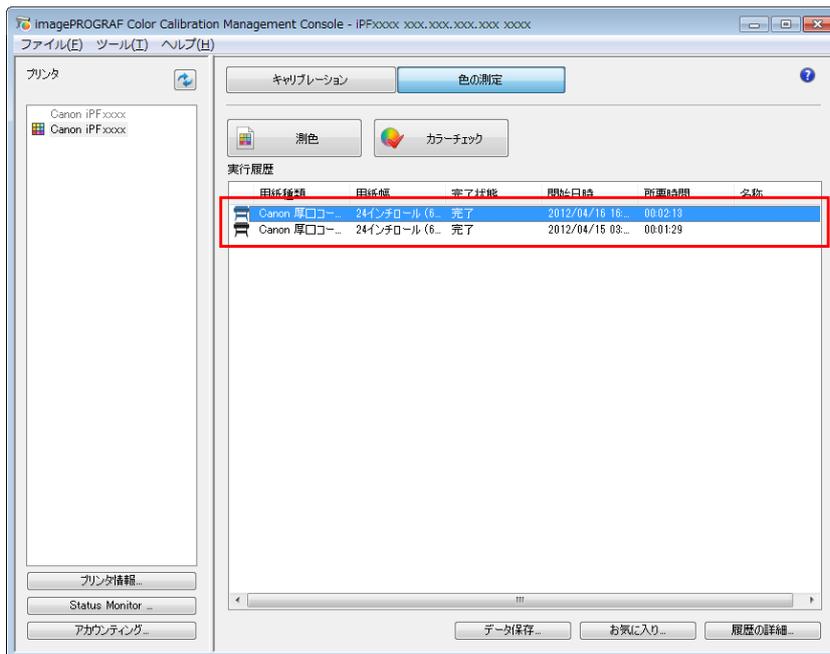
## 実行履歴をコンピュータに保存する

[測色データの取得]の実行履歴をコンピュータに保存します。



- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

- 1 メインウィンドウ([色の測定]シート)の[実行履歴]でコンピュータに保存する実行履歴を選択します。



- 2 [ツール]メニューから[実行履歴の CSV 出力]>[選択した履歴]を選択します。

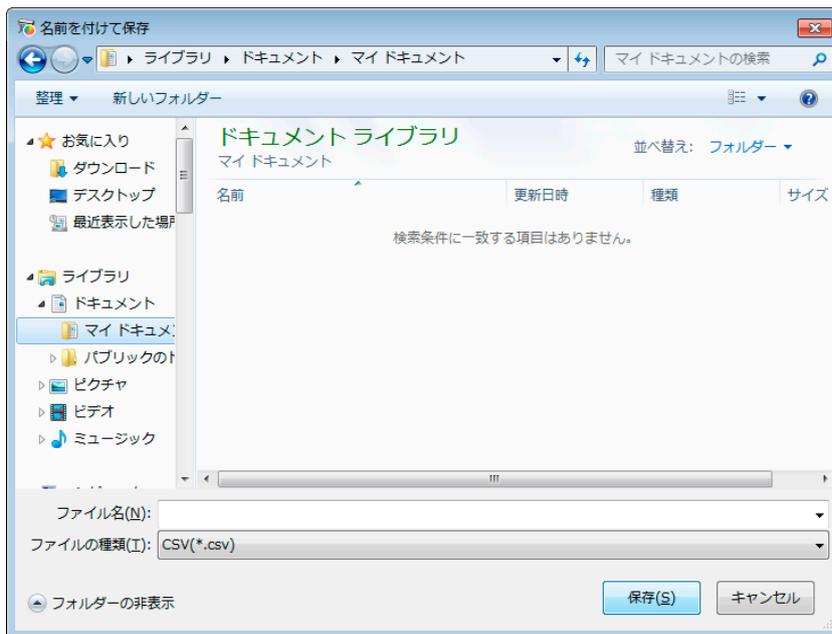


- すべての実行履歴を保存する場合は、[全ての履歴]を選択します。

## 実行履歴をコンピュータに保存する

---

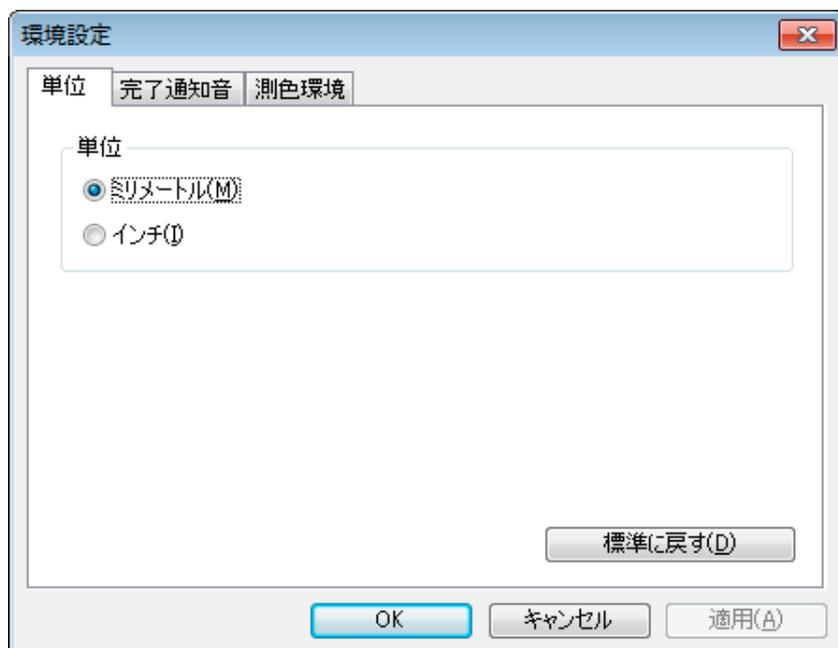
3 ファイル名を入力して保存します。



## 表示単位を切り替える

Color Calibration Management Console に表示される単位をミリメートルまたはインチに切り替えます。

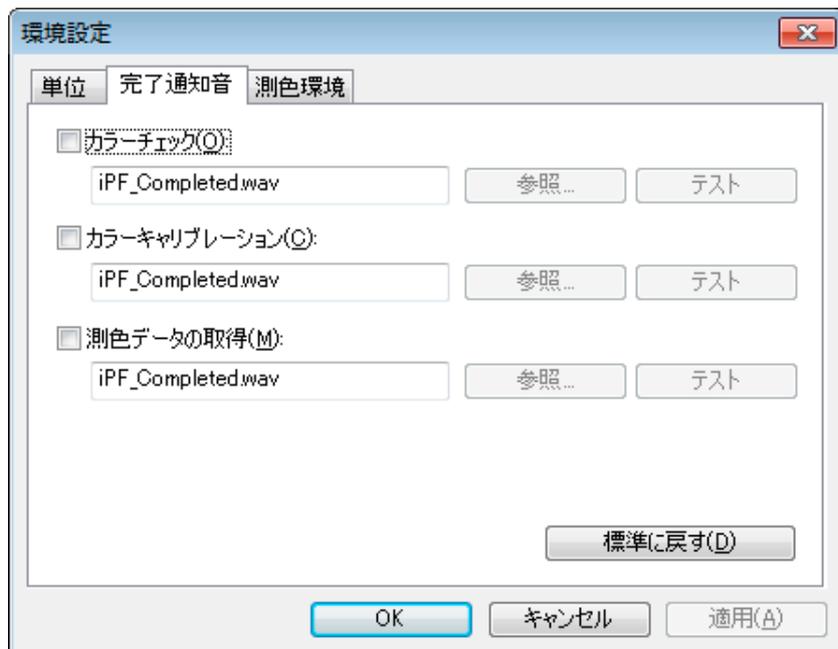
- 1 [ファイル]メニューから[環境設定]を選択します。
- 2 [環境設定]ダイアログボックスの[単位]シートで、表示単位を選択して[OK]ボタンをクリックします。



## カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる

カラーキャリブレーションが完了したことを音で知らせることができます。

- 1 [ファイル]メニューから[環境設定]を選択します。
- 2 [環境設定]ダイアログボックスの[完了通知音]シートで[カラーキャリブレーション]チェックボックスをオンにし、[参照]ボタンをクリックして音声ファイルを選択します。



### メモ

- 選択した音声ファイルの音を確認したいときは、[テスト]ボタンをクリックします。

- 3 [OK]ボタンをクリックします。